

令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 5キャンパス6附属病院群

- ① 本郷・お茶の水キャンパス
 大学・大学院・法人本部
 医学部
 国際教養学部
 保健医療学部
 大学院研究科
 順天堂医院
 (医院の名を継承しています)

⑥ 練馬病院



④ 順天堂越谷病院



③ 浦安病院



⑤ 順天堂東京江東高齢者医療センター



② さくらキャンパス
 スポーツ健康科学部
 スポーツ健康科学研究科



② 静岡病院



⑤ 浦安・日の出キャンパス
 医療科学部
 健康データサイエンス学部
 薬学部
 医療看護学
 医療看護学研究科



④ 三島キャンパス
 保健看護学部
 医療看護学
 研究科



<https://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章 B 法人章
 「意匠登録」：1996(平成8)年

A法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の“サ”又はA 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2026年 順天堂創立188周年

開塾：1838年（天保9年）



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の **1838(天保9)年、今から188年前に学祖・佐藤泰然**が江戸・日本橋・薬研堀に設立したオランダ医学塾（和田塾）に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、1869(明治2)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を発展させました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、その後日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、1869(明治2)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、1874(明治7)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部を卒業し、医学博士になりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、1875(明治8)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は欧文誌、Juntendo Medical Journal:JMJとして)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。**第三代堂主となった佐藤進**は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。1885(明治18)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の初代院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、1951(昭和26)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院長を続けつつ東京医科大学の創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発

展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、1959(昭和34)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、1971(昭和46)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、1967(昭和42)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、1984(昭和59)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。1986(昭和61)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、1988(昭和63)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、1989(平成元)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開学しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、1993(平成5)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実に努めました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、1896(明治29)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護取締(総婦長)]を登用して看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして、**第九代堂主(理事長)・小川秀興**は、2000(平成12)年、学長就任を機として、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。2004(平成16)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果として、

- 1.2000(平成12)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- 2.2004(平成16)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。
- 3.2002(平成14)年6月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、2004(平成16)年4月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第5番目の医学部附属病院「順天

堂東京江東高齢者医療センター」となりました。

- 4.2007(平成19)年、大学院医療看護学研究科・修士課程が開設され、2014(平成26)年には博士後期課程が開設されました。
- 5.2010(平成22)年、第4の学部として保健看護学部(静岡県三島市)が開設されました。
- 6.2013(平成25)年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。
- 7.2005(平成17)年、練馬区における病院誘致に多数の応募医療機関の中から病院運営者として選定され、順天堂第6番目の医学部附属病院「練馬病院」が開院されました。
- 8.2015(平成27)年、第5の学部として国際教養学部が開設され、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。
- 9.2019(平成31)年、第6の学部となる保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科が開設されました。
- 10.2022(令和4)年、千葉県浦安市日の出地区の校地に「浦安・日の出キャンパス」が開設され、第7の学部となる医療科学部臨床検査学科・臨床工学科が開設されました。
- 11.2023(令和5)年、浦安・日の出キャンパスに第8の学部として健康データサイエンス学部が開設され、第4の大学院研究科として保健医療学部を基礎として大学院保健医療学研究科が開設されました。
- 12.2024(令和6)年、第9の学部として薬学部が開設され、第5の大学院研究科として国際教養学部を基礎として大学院国際教養学研究科が開設されました。
- 13.2025(令和7)年、第6の大学院研究科として健康データサイエンス学部を基礎として健康データサイエンス研究科が開設されました。
- 14.2026(令和8)年、第7・第8の大学院研究科として医療科学部を基礎として大学院医療科学研究科、薬学部を基礎として大学院薬学研究科が開設されました。

順天堂は、附属6病院合計で総病床数3,589床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発揮し、総合力に秀でた医育機関として発展するとともに、外国人患者の急増に対応して国際診療部を設置するなど国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校、国籍、性別の差別のない“三無主義”を学風として掲げ、9学部8研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2026年5月15日(創立記念日)

学校法人 順 天 堂

理事長 小 川 秀 興

I. 法人の概要
1. 法人の設置する学校
【順天堂大学（大学院）】

研究科名称		所在地	沿革
医学研究科	修士課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成24. 11. 大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
	博士課程		昭和34. 3. 大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和46. 3. 大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4. 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
	博士後期課程		平成11. 12. 大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
医療看護学研究科	博士前期課程	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成18. 11. 大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
	博士後期課程		平成25. 10. 大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
保健医療学研究科	博士前期課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号	令和 4. 8. 大学院保健医療学研究科（修士課程）設置認可。 令和 5. 4. 同 開設。 令和 7. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
	博士後期課程		令和 6. 8. 大学院保健医療学研究科（博士後期課程）設置認可。 令和 7. 4. 同 開設。
国際教養学研究科	修士課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号	令和 5. 9. 大学院国際教養学研究科（修士課程）設置認可。 令和 6. 4. 同 開設。
健康データサイエンス研究科	博士前期課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号	令和 6. 8. 大学院健康データサイエンス研究科 （博士前期課程、博士後期課程）設置認可。 令和 7. 4. 同 開設。
	博士後期課程		

※複数の校地に設置している場合は、本部機能を有するキャンパスの所在地を記載

【順天堂大学（学部）】

学部名称	所在地	沿革
医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年(1838年)西洋医学塾開塾。以降、江戸(薬研堀)から佐倉(千葉)、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12.(財)順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21.5.(財)順天堂医科大学設置認可。 昭和26.2.(学)順天堂医科大学認可。 昭和26.6.順天堂大学体育学部Ⅱ類(医学進学コース)開設。 昭和27.2.新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27.4.順天堂大学医学部開設。
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26.6.体育学部Ⅰ類(体育学専攻、健康教育学専攻)開設。 昭和46.1.体育学部(体育学科、健康学科)設置認可。 平成4.12.スポーツ健康科学部設置認可。 平成5.4.体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科設置。 令和2.4.スポーツ健康科学科設置届出。 令和3.4.スポーツ健康科学科開設。※スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科学学生募集停止
		(看護教育沿革) 明治29.10.順天堂医院看護婦養成所開設。 昭和29.4.順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36.3.同高等看護婦学校開設。 昭和38.4.順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51.11.順天堂看護専門学校へ名称変更。
医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元.4.順天堂医療短期大学開設。 平成15.11.医療看護学部設置認可。 平成16.4.順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19.6.同短期大学廃止。
保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21.6.保健看護学部設置届出。 平成21.9.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成22.4.保健看護学部開設。
国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26.12.国際教養学部設置認可。 平成27.4.同開設。
保健医療学部 理学療法学科 診療放射線学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成30.8.保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科設置認可。 平成31.4.同開設。
医療科学部 臨床検査学科 臨床工学科	千葉県浦安市日の出6丁目8番1号	令和3.4.医療科学部臨床検査学科・臨床工学科設置届出。 令和3.6.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 令和4.4.同開設。
健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	千葉県浦安市日の出6丁目8番1号	令和4.8.健康データサイエンス学部設置認可。 令和5.4.同開設。
薬学部 薬学科	千葉県浦安市日の出6丁目8番1号	令和5.9.薬学部設置認可。 令和6.4.同開設。

※複数の校地に設置している場合は、本部機能を有するキャンパスの所在地を記載

2. 研究科・学部一覧

研究科・学部・学科名称		取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士 (医科学) 博士 (医学)	高橋 和久
	スポーツ健康科学研究科	修士 (スポーツ健康科学) 博士 (")	和氣 秀文
	医療看護学研究科	修士 (看護学) 博士 (")	平井 周
	保健医療学研究科	修士 (理学療法学)、修士 (診療放射線学) 博士 (")、博士 (")	京極 伸介
	国際教養学研究科	修士 (国際教養学)	加藤 洋一
	健康データサイエンス研究科	修士 (健康データサイエンス学) 博士 (")	青木 茂樹
学部	医学部 医学科	学士 (医学)	高橋 和久
	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科	学士 (スポーツ健康科学)	和氣 秀文
	医療看護学部 看護学科	学士 (看護学)	平井 周
	保健看護学部 看護学科	学士 (看護学)	兒玉 裕三
	国際教養学部 国際教養学科	学士 (国際教養学)	ニヨンサバ フランソワ
	保健医療学部	学士 (学位名は下記のとおり)	藤原 俊之
	理学療法学科	学士 (理学療法学)	高橋 哲也
	診療放射線学科	学士 (放射線技術学)	坂本 肇
	医療科学部	学士 (学位名は下記のとおり)	長岡 功
	臨床検査学科	学士 (臨床検査学)	三井田 孝
	臨床工学科	学士 (臨床工学)	峰島 三千男
	健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	学士 (健康データサイエンス学)	青木 茂樹
	薬学部 薬学科	学士 (薬学)	岩渕 和久

3. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,051 床	東京都文京区本郷 3 丁目 1 番 3 号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	633 床	静岡県伊豆の国市長岡 1129 番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	785 床	千葉県浦安市富岡 2 丁目 1 番 1 号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山 560 番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	404 床	東京都江東区新砂 3 丁目 3 番 20 号
順天堂練馬病院	平成 17. 7. 1	490 床	東京都練馬区高野台 3 丁目 1 番 10 号
合 計		3,589 床	

※病床数は令和 8 年 3 月 31 日現在の稼働数

4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

研究科・学部・学科名称		修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3							
						1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
大学院	医学研究科	修士課程	2年	60	118	120	203	114 (60)	89 (60)	-	-	-	-
		博士課程	4年	180	191	720	772	187 (180)	195 (180)	198 (180)	192 (180)	-	-
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	70	69	131	144	69 (70)	75 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	18	30	43	17 (10)	11 (10)	15 (10)	-	-	-
	医療看護学 研究科	博士前期課程	2年	29	28	58	60	28 (29)	32 (29)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	12	12	36	45	12 (12)	10 (12)	23 (12)	-	-	-
	保健医療学 研究科	博士前期課程	2年	16	39	26	72	39 (16)	33 (10)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	8	8	8	8	8 (8)					
	国際教養学 研究科	修士課程	2年	5	6	10	13	6 (5)	7 (5)	-	-	-	-
	健康データ サイエンス 研究科	博士前期課程	2年	20	27	20	27	27 (20)					
博士後期課程		3年	6	11	6	11	11 (6)						
大学院 計			416	527	1,165	1,398	518 (416)	452 (367)	236 (202)	192 (180)	-	-	
学部	医学部 医学科		6年	138	138	827	827	138 (138)	140 (140)	146 (140)	135 (138)	135 (136)	133 (135)
	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科		4年	600	618	2,400	2,452	615 (600)	608 (600)	618 (600)	611 (600)	-	-
	医療看護学部 看護学科		4年	220	222	880	868	227 (220)	221 (220)	213 (220)	207 (200)	-	-
	保健看護学部 看護学科		4年	160	163	580	586	163 (160)	163 (160)	132 (130)	128 (130)	-	-
	国際教養学部 国際教養学科		4年	240	251	960	945	259 (240)	259 (240)	227 (240)	200 (240)	-	-
	保健医療学部		4年	240	251	960	974	258 (240)	242 (240)	234 (240)	240 (240)	-	-
	理学療法学科	4年	120	126	480	482	128 (120)	118 (120)	121 (120)	115 (120)	-	-	
		診療放射線学科	4年	120	125	480	492	130 (120)	124 (120)	113 (120)	125 (120)	-	-
	医療科学部		4年	180	202	720	736	201 (180)	190 (180)	175 (180)	170 (180)	-	-
	臨床検査学科		4年	110	120	440	456	124 (110)	117 (110)	111 (110)	104 (110)	-	-
	臨床工学科		4年	70	82	280	280	77 (70)	73 (70)	64 (70)	66 (70)	-	-
	健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科		4年	100	106	300	316	108 (100)	109 (100)	99 (100)	-	-	-
	薬学部 薬学科		6年	180	183	360	368	183 (180)	185 (180)	-	-	-	-
学部 計			2,058	2,134	7,987	8,072	2,152 (2,058)	2,117 (2,060)	1,844 (1,850)	1,691 (1,728)	135 (136)	133 (135)	

※1 入学者欄は令和7年4月に入学した学生数、※2 在籍者欄は令和8年3月31日における学生数、※3 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	新井 一	理事長補佐
	代田 浩之	学長
	木南 英紀	学長特別補佐
	服部 信孝	学長補佐
	高橋 和久	医学部長、大学院医学研究科長
	和氣 秀文	スポーツ健康科学部長、大学院スポーツ健康科学研究科長
	平井 周	医療看護学部長、大学院医療看護学研究科長
	兒玉 裕三	保健看護学部長
	ニヨンサバ フランソワ	国際教養学部長
	藤原 俊之	保健医療学部長
	長岡 功	医療科学部長
	青木 茂樹	健康データサイエンス学部長、大学院健康データサイエンス研究科長
	岩淵 和久	薬学部長
	山路 健	順天堂医院長
	佐藤 浩一	静岡病院長
	田中 裕	浦安病院長
	鈴木 利人	順天堂越谷病院長
	宮内 克己	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	浦尾 正彦	順天堂練馬病院長
	宮野 武	順天堂練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	大学院医学研究科特任教授
	内藤 久士	大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康医科学研究所長
	植木 純	大学院医療看護学研究科シミュレーション教育研究センター長
	加藤 洋一	大学院国際教養学研究科長
	京極 伸介	大学院保健医療学研究科長
永田 良一	非常勤	
大谷 泰夫	非常勤	
監事	飯塚 順彦	常勤
	辛島 睦	非常勤
	星野 次彦	非常勤

6. 評議員

綿田 裕孝	永原 章仁	内藤 俊夫	鈴木 大地	青木 和浩	櫻井しのぶ	田村 好史
高橋 哲也	細谷 芳三	田中ひとみ	宮川 政久	高崎 芳成	津田 裕士	臼井 淳一
加納 實	照沼 則子	古谷 健一	三橋 直樹	小林 茂人	坂本 一博	富野康日己
高谷 雅史	佐藤 雅彦	澤木 啓祐	島内 憲夫	野川 春夫	櫻井 美鈴	青木きよ子
村田 善則	岡本暉公彦					(計 30 名)

7. 会計監査人

EY 新日本有限責任監査法人

8. 教職員数

(1) 教員数

(令和8年3月31日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	276	11	79	4	47	10	427	365	792
(内訳)									
医学研究科	229	10	72	3	45	8	367	230	597
スポーツ健康科学研究科	19	0	2	0	2	2	25	19	44
医療看護学研究科	14	1	1	0	0	0	16	98	114
保健医療学研究科	1	0	0	0	0	0	1	8	9
国際教養学研究科	1	0	0	0	0	0	1	3	4
健康データサイエンス研究科	12	0	4	1	0	0	17	7	24
学 部	85	140	413	25	435	491	1,589	3,204	4,793
(内訳)									
医 学 部	7	93	325	5	363	483	1,276	2,727	4,003
スポーツ健康科学部	6	19	23	1	14	2	65	93	158
医療看護学部	1	7	15	1	23	2	49	80	129
保健看護学部	14	3	9	5	7	4	42	65	107
国際教養学部	12	9	12	0	5	0	38	138	176
保健医療学部	11	4	13	3	8	0	39	30	69
医療科学部	15	1	2	4	6	0	28	39	67
健康データサイエンス学部	1	0	2	1	4	0	8	20	28
薬 学 部	18	4	12	5	5	0	44	12	56
法人・総務局	4	0	1	0	0	0	5	2	7
合 計	365	151	493	29	482	501	2,021	3,571	5,592

※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	190	53	0	22	265
学部本務教員内 大学院併任教員	22	459	6	47	534

	教員数
大学院	1,326
学 部	5,058

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
918	15	5,584	35	60	6,612

教職員合計
12,205

<参考：令和7年度臨床研修医受入数（括弧内は令和7年度新規受入数）>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
87 (43)	67 (35)	85 (42)	68 (34)	307 (154)

9. 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)	
新学術領域研究 (研究領域提案型)	新規	3	4	3,600	42,000	1,080	12,600
	継続	1		38,400		11,520	
基盤研究(S)	新規	0	3	0	89,700	0	26,910
	継続	3		89,700		26,910	
基盤研究(A)	新規	2	6	29,200	55,300	8,760	16,590
	継続	4		26,100		7,830	
基盤研究(B)	新規	19	67	90,600	258,500	27,180	77,550
	継続	48		167,900		50,370	
基盤研究(C)	新規	118	412	161,900	439,050	48,570	131,715
	継続	294		277,150		83,145	
若手研究	新規	78	235	115,346	267,496	33,990	79,635
	継続	157		152,150		45,645	
挑戦的研究(開拓)	新規	1	1	7,000	7,000	2,100	2,100
	継続	0		0		0	
挑戦的研究(萌芽)	新規	7	20	13,900	36,300	4,170	10,890
	継続	13		22,400		6,720	
研究活動スタート支援	新規	21	33	23,300	35,100	6,990	10,530
	継続	12		11,800		3,540	
国際共同研究強化	新規	2	2	23,600	23,600	7,080	7,080
	継続	—		—		—	
海外連携研究	新規	0	3	0	18,900	0	5,670
	継続	3		18,900		5,670	
国際先導	新規	0	1	0	83,400	0	25,020
	継続	1		83,400		25,020	
特別研究員奨励費	新規	3	10	3,100	8,600	270	1,170
	継続	7		5,500		900	
研究成果促進費	新規	1	1	500	500	0	0
	継続	—		—		—	
奨励研究	新規	5	5	2,360	2,360	0	0
	継続	—		—		—	
合 計	新規	260	803	474,406	1,367,806	140,190	407,460
	継続	543		893,400		267,770	

② 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

事業名	採択件数(件)	決定額(千円)
卓越研究員事業	1	4,000
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)	1	30,000
合計	2	34,000

③ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金、厚生労働行政推進調査事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
統計情報総合研究事業	1	3,630	1,088
厚生労働科学特別研究事業	1	2,148	644
難治性疾患政策研究事業	1	22,320	6,695
慢性の痛み政策研究事業	1	7,700	2,300
エイズ対策政策研究事業	1	11,500	3,450
地域医療基盤開発推進研究事業	5	15,355	4,259
健康安全・危機管理対策総合研究事業	1	5,000	0
合計	11	67,653	18,436

④ 厚生労働省：労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	1	84,700	25,335
合計	1	84,700	25,335

⑤ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
研究者育成支援研究奨励事業(創薬関連分野)	1	7,000	700
臨床研究開発推進事業(医療技術実用化総合促進事業)	1	131,100	13,110
合計	2	138,100	13,810

⑥ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
RA追加経費支援制度(大学助成型)	1	1,200	120
合計	1	1,200	120

(2) 委託費

① 文部科学省

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
先端的スポーツ医・科学研究推進事業	1	40,942	4,094
合計	1	40,942	4,094

② 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	1	24,000	7,200
創薬基盤推進研究事業	1	30,000	6,000
次世代がん医療加速化研究事業	2	35,000	10,500
再生医療等実用化研究事業	1	80,000	24,000
再生医療等実用化基盤整備促進事業	1	70,000	21,000
再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム	3	281,036	84,311
革新的がん医療実用化研究事業	3	37,700	11,310
長寿科学研究開発事業	1	8,000	2,400
認知症研究開発事業	1	19,000	5,700
障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野）	2	44,000	13,200
障害者対策総合研究開発事業（身体・知的・感覚器障害分野）	1	6,600	1,980
難治性疾患実用化研究事業	7	282,050	84,615
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	1	15,000	4,500
新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	1	35,000	10,500
肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業	1	23,000	6,900
革新的先端研究開発支援事業	5	53,688	16,106
医療機器等研究成果展開事業	1	20,000	6,000
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業	1	14,385	4,315
医薬品等規制調和・評価研究事業	1	6,150	1,845
ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム	2	26,600	7,980
新興・再興感染症研究基盤創生事業（海外拠点活用研究領域）	1	15,000	4,500
脳神経科学統合プログラム	6	228,000	68,400
橋渡し研究プログラム	1	80,000	24,000
合計	45	1,434,209	427,262

③ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
戦略的創造研究推進事業	1	2,880	864
研究成果展開事業 共創の場形成支援(共創の場形成支援プログラム)	1	119,234	35,770
大学発新産業創出基金事業(基金)	1	12,070	3,621
創発的研究支援事業	16	91,856	27,557
ムーンショット型研究開発事業	1	59,420	17,826
ムーンショット型研究開発事業	1	14,446	4,334
合計	21	299,906	89,972

④ 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
希少疾病用再生医療品等開発支援事業	1	11,307	1,695
戦略的イノベーション創造プログラム包括的コミュニティプラットフォームの構築	1	73,913	11,087
合計	2	85,220	12,782

⑤ 独立行政法人環境再生保全機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
環境保健調査研究	1	3,600	360
合計	1	3,600	360

⑥ 独立行政法人国際協力機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS) 第3期(2025年7月1日~2026年3月31日)	1	29,340	0
合計	1	29,340	0

10. 寄付講座・共同研究講座・産学協同研究講座
(1) 寄付講座

講座名	寄付者	設置期間	責任者等
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	H23. 5. 1 ～R11. 3. 31	医学研究科 研究科長 高橋 和久
運動障害疾患病態研究・ 治療講座	日本メドトロニック株式会社 ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 (H27.4.1～) 帝人ファーマ株式会社 (共同研究) (R3.4.1～) アボットジャパン合同会社 (R6.4.1～) 株式会社 APEX (R6.4.1～R7.3.31)	H24. 4. 1 ～R 9. 3. 31	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
遺伝子疾患先端情報学講 座	大塚製薬株式会社 株式会社ファンケル (R5.4.1～) 第一工業製薬株式会社 (R5.4.1～) 株式会社食文化 (R2.4.1～) ロート製薬株式会社 (R2.4.1～) 第一生命保険株式会社 (R5.4.1～)	H26. 4. 1 ～R11. 3. 31	泌尿器外科学 主任教授 堀江 重郎
乳酸菌生体機能研究講座	明治ホールディングス株式会社	H27. 4. 1 ～R 9. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
先進血液病態学講座	ファーマエッセンシアジャパン株式会社	R 3. 3. 1 ～R 9. 2. 28	血液学 主任教授 安藤 美樹
脳疾患連携分野研究講座	ネクセラファーマジャパン株式会 社	R 3. 4. 1 ～R 8. 3. 31	脳神経外科学 主任教授 近藤 聡英
骨関節疾患地域医療・研 究講座	茨城県 (～R7.3.31) 神栖市	R 4. 4. 1 ～R10. 3. 31	整形外科・運動器医学 主任教授 石島 旨章
ホスピタリスト研究実践 講座	公益財団法人星総合病院	R 4. 4. 1 ～R10. 3. 31	総合診療科学 主任教授 内藤 俊夫
機能修復治療学講座	エム・エフコンサルタント株式会社	R 5. 4. 1 ～R 8. 3. 31	リハビリテーション医学 主任教授 藤原 俊之
消化管疾患病態研究・治 療学講座	株式会社ヤクルト本社	R 6. 4. 1 ～R10. 3. 31	消化器内科学 教授 永原 章仁
中谷生体空間オミクス医 療解析拠点	公益財団法人 中谷財団	R 6. 4. 1 ～R11. 3. 31	生化学・生体システム医科学 主任教授 洲崎 悦生
創造長寿医学	株式会社アニヴェルセル HOLDINGS	R 7. 1. 1 ～R 9. 12. 31	泌尿器外科学 主任教授 堀江 重郎
先進老化再生治療学講座	(非公開)	R 7. 4. 1 ～R10. 3. 31	循環器内科学 主任教授 南野 徹

(2) 共同研究講座

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
オートファジー調節化合物探索研究講座	住友ファーマ株式会社	H29. 4. 1 ～R11. 3. 31	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
認知症診断・予防・治療学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H30. 1. 1 ～R 8. 12. 31	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
データサイエンス推進講座	株式会社 4 DIN 株式会社 BuzzReach (R6. 12. 1～)	H30. 12. 1 ～R 9. 11. 30	放射線診断学 特任教授 桑鶴 良平
循環器遠隔管理学講座	パラマウントベッド株式会社	R 1. 5. 1 ～R 9. 4. 30	循環器内科学 主任教授 南野 徹
ICT 制御に基づく在宅医療開発講座	株式会社サンウェルズ	R 1. 10. 1 ～R 7. 9. 30	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
先端予防医学・健康情報学講座	株式会社クレディセゾン	R 2. 1. 1 ～R11. 3. 31	総合診療科学 主任教授 内藤 俊夫
パーキンソン病治療薬開発講座	大原薬品工業株式会社 株式会社 PARKINSON Laboratories	R 2. 4. 1 ～R 13. 3. 31	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
気分障害分子病態学講座	住友ファーマ株式会社	R 2. 10. 1 ～R 8. 9. 30	精神医学 主任教授 加藤 忠史
アフェレシス治療技術と生命科学講座	旭化成メディカル株式会社	R 2. 10. 1 ～R 8. 9. 30	膠原病・リウマチ内科学 教授 山路 健
マルチスケール脳構造イメージング講座	株式会社ニコンソリューションズ	R 2. 11. 1 ～R 8. 10. 31	脳回路形態学 教授 日置 寛之
パーキンソン病臨床データ解析研究講座	小野薬品工業株式会社	R 3. 1. 1 ～R 7. 12. 31	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
免疫病・がん先端治療学講座	ワイズ・エー・シー株式会社	R 3. 4. 1 ～R11. 3. 31	アトピー疾患研究センター 特任教授 奥村 康
先進老化制御学講座	株式会社ブルボン	R 3. 4. 1 ～R 9. 3. 31	循環器内科学 主任教授 南野 徹
運動器疾患病態学講座	サントリーウエルネス株式会社 塩野義製薬株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社日本エム・ディ・エム 久光製薬株式会社 オリンパステルモバイオマテリアル株式会社 エノヴィスジャパン株式会社	R 3. 4. 1 ～R 9. 3. 31	整形外科・運動器医学 主任教授 石島 旨章
次世代病院 IoT ネットワーク共同研究講座	アライドテレシスホールディングス株式会社	R 4. 3. 1 ～R 9. 2. 28	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
生殖技術フロンティア講座	株式会社新日本科学	R 4. 7. 1 ～R 8. 6. 30	産婦人科学 教授 河村 和弘
食と生殖機能先端研究講座	株式会社パートナーズ	R 4. 7. 1 ～R 9. 6. 30	産婦人科学 教授 河村 和弘
遠隔医療・モバイルヘルス研究開発講座	株式会社関電工	R 5. 3. 1 ～R 9. 2. 28	眼科学講座 主任教授 中尾新太郎

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
腸内フローラ研究講座	森永乳業株式会社	R 5. 4. 1 ～R 8. 3. 31	特任教授 佐藤 信紘
スポーツ施設・環境研究講座	株式会社大林組	R 5. 4. 1 ～R 8. 3. 31	スポーツ健康科学研究科 研究科長 和氣 秀文
免疫・身体機能と睡眠の科学講座	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	R 5. 5. 1 ～R 8. 4. 30	膠原病・リウマチ内科学 教授 山路 健
パーソナル・アダプティブ・スマートホスピタル共同研究講座	鹿島建設株式会社	R 5. 7. 1 ～R 8. 6. 30	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
運動器再生医学研究講座	株式会社 Gaudi Clinical 株式会社ベリタス	R 5.11. 1 ～R 8.10. 31	整形外科・運動器医学 主任教授 石島 旨章
再生医療応用低侵襲外科科学講座	医療法人社団ルネ	R 6. 4. 1 ～R 8. 3. 31	上部消化管外科 主任教授 福永 哲
腸管機能研究講座	株式会社 JFR	R 6. 4. 1 ～R 9. 3. 31	救急・災害医学 主任教授 近藤 豊
PD 長期観察共同研究講座	株式会社サンウェルズ	R 6. 4. 1 ～R 9. 3. 31	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
分子細胞治療研究講座	株式会社ジェイホールディングス	R 6. 4. 1 ～R 9. 3. 31	緩和医療学 教授 水嶋 章郎
最先端形態イメージング学講座	日本電子株式会社	R 6. 4. 1 ～R 9. 3. 31	医学研究科 研究科長 高橋 和久
経カテーテル弁膜症治療デバイス共同研究講座	株式会社マイトラペックス アイング株式会社	R 6. 5. 1 ～R 9. 4. 30	心臓血管外科学 教授 田端 実
皮膚抗加齢再生医学講座	株式会社エテルナム	R 6. 5. 1 ～R 9. 4. 30	環境医学研究所 特任教授 高森 建二
医療デジタルレジリエンス研究講座	富士通 Japan 株式会社	R 6. 6. 1 ～R 9. 5. 31	救急・災害医学 教授 岡本 健
順天堂何氏先端眼科技術研究室	He University	R 6.10. 1 ～R11. 9. 30	眼科学 主任教授 中尾新太郎
アフェシス再生の科学講座	株式会社カネカ	R 6.10. 1 ～R 9. 9. 30	膠原病・リウマチ内科学 教授 山路 健
マイクロバイオームを用いた新規診断法開発	Meiji Seika ファルマ株式会社	R 6.10. 1 ～R 9. 9. 30	難治性疾患診断・治療学 教授 赤澤 智宏
AI を活用した医師の働き方改革実現講座	アビームコンサルティング株式会社	R 6.11. 1 ～R 9.10. 31	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
臨床微生物分析法開発研究講座	株式会社島津製作所	R 7. 1. 1 ～R 9.12. 31	総合診療科学講座 主任教授 内藤 俊夫 薬学部 特任教授 田部 陽子
BPAN 病態解明講座	エーザイ株式会社	R 7. 4. 1 ～R10. 3. 31	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
組織再生医療 (TOPPAN) 共同研究講座	TOPPAN ホールディングス株式会社	R 7. 4. 1 ～R10. 3. 31	再生医学 担当教授 田中 里佳

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
memer ロボティクス共同研究講座	芙蓉実業株式会社	R 7. 10. 1 ～R10. 9. 30	感染制御科学 教授 堀 賢
高度医療技術ツーリズム共同研究講座	株式会社ワンメディカ	R 7. 11. 1 ～R10. 10. 31	心臓血管外科学 主任教授 田端 実
医療 AI・デジタルイノベーション講座	ソフトバンク株式会社 株式会社 HEMILLIONS	R 7. 12. 1 ～R10. 11. 30	AI インキュベーションファーム 教授 矢野裕一朗
ロボット手術経済・価値創出学講座	インテュイティブサージカル合同会社	R 8. 3. 1 ～R11. 2. 28	膠原病・リウマチ内科学 教授 山路 健

(3) 産学協同研究講座

講座名	産学協同研究者	参画形態	設置期間	責任者等
認知症治療学講座	PDR ファーマ株式会社 公益財団法人小笠原敏昌記念財団 興和株式會社 株式会社アライブメディケア 医療法人社団悠輝会 (1者非公開)	共同研究 研究助成 共同研究 共同研究 寄付 寄付	R6. 3. 1 ～R 9. 2. 28	ニューロングリアクロストークセンター 特任教授 服部 信孝
心血管睡眠呼吸医学講座	株式会社フィリップス・ジャパン フクダ電子株式会社 レスメド株式会社	寄付 共同 寄付	R 6. 4. 1 ～R 9. 3. 31	循環器内科学 主任教授 南野 徹

11. 授業料等学生が納付する金額

(単位：円)

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	425,000	150,000	-	-	775,000
		修士課程	200,000	425,000※2	150,000	-	-	775,000
	スポーツ健康科学研究科	200,000	575,000※3	50,000	-	-	825,000	
	医療看護学研究科	200,000	575,000	50,000	-	-	825,000	
	保健医療学研究科	200,000	575,000	50,000	-	-	825,000	
	国際教養学研究科	200,000	575,000	50,000	-	-	825,000	
	健康データサイエンス研究科	200,000	575,000	50,000	-	-	825,000	
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	-	2,900,000
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000
	スポーツ健康科学部	200,000	700,000	350,000	-	250,000	1,500,000	
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000※4	-	1,850,000	
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	140,000※5	-	1,640,000	
	国際教養学部	300,000	1,000,000	-	-	250,000	1,550,000	
	保健医療学部	300,000	1,000,000	300,000	150,000※6	-	1,750,000	
	医療科学部	300,000	1,000,000	300,000	150,000※6	-	1,750,000	
	健康データサイエンス学部	200,000	1,000,000	300,000	-	100,000	1,600,000	
	薬学部	300,000	1,400,000	300,000	300,000	-	2,300,000	

※1 入学時のみ

※2 データサイエンス学位プログラムは1,075,000円

※3 博士前期課程1年制コースは850,000円

※4 4年次に次のコースを選択した場合は実習費を加算 保健師コース：50,000円、助産師コース：350,000円

※5 2年次以降は420,000円、

※6 2年次以降は480,000円

12. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

(単位:名)

区 分	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	160	180	180	180	
〃 入学者数 (〃)	179	162	177	206	
博士 (医学) 甲 学位記授与数	155	146	167	181	《3,226》
博士 (医学) 乙 学位記授与数	20	14	16	21	《2,585》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	60	60	60	60	
〃 入学者数 (〃)	77	98	89	91	
修士 (医科学) 学位記授与数	78	94	81	85	《606》

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	10	10	10	10	
〃 入学者数 (〃)	18	14	11	11	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	14	11	8	11	《145》
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	0	2	1	0	《28》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
〃 入学者数 (〃)	63	67	62	77	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	60	66	62	73	《1,523》

大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	10	10	12	12	
〃 入学者数 (〃)	10	10	8	12	
博士 (看護学) 甲 学位記授与数	7	6	8	7	《71》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	25	29	29	29	
〃 入学者数 (〃)	27	33	33	31	
修士 (看護学) 学位記授与数	29	30	32	29	《369》

大学院保健医療学研究科 理学療法学専攻

(単位:名)

区 分	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	—	—	5	5	
〃 入学者数 (〃)	—	—	19	18	
修士 (理学療法学) 学位記授与数	—	—	17	19	《36》

大学院保健医療学研究科 診療放射線学専攻

(単位:名)

区 分	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	—	—	5	5	
〃 入学者数 (〃)	—	—	9	14	
修士 (診療放射線学) 学位記授与数	—	—	9	13	《22》

大学院国際教養学研究科

(単位:名)

区 分	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	—	—	—	5	
〃 入学者数 (〃)	—	—	—	9	
修士 (国際教養学) 学位記授与数	—	—	—	7	《7》

13. 学部卒業生数

(単位：名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位(学士)	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	135 (43)	137 (44)	139 (65)	131 (47)	医専卒 《 319》 医科大卒 《 89》 学部卒 《6,055》 累計《6,463》
スポーツ健康科学部		399 (153)	415 (163)	585 (190)	596 (218)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《10,388》 累計《15,595》
スポーツ健康科学科	スポーツ健康科学	—	—	585 (190)	596 (218)	
スポーツ科学科	スポーツ科学	243 (85)	252 (80)	—	—	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	77 (27)	81 (30)	—	—	
健康学科	健康学	79 (41)	82 (53)	—	—	
医療看護学部 看護学科	看護学	194 (192)	201 (195)	195 (188)	205 (197)	講習所 《1,182》 看護学院 《 29》 准看護婦学院 《 132》 高等看護学校 《 775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《3,580》 累計《8,368》
保健看護学部 看護学科	看護学	124 (118)	121 (112)	119 (111)	128 (116)	累計 《1,564》
国際教養学部 国際教養学科	国際教養学	221 (150)	211 (128)	216 (127)	177 (105)	累計 《1,272》
保健医療学部		231 (128)	221 (127)	231 (127)	230 (142)	累計 《 913》
理学療法学科	理学療法学	116 (68)	111 (63)	122 (74)	113 (62)	累計 《 462》
診療放射線学科	放射線技術学	115 (60)	110 (64)	109 (63)	117 (80)	累計 《 451》
医療科学部		—	—	—	160 (119)	累計 《 160》
臨床検査学科	臨床検査学	—	—	—	96 (80)	累計 《 96》
臨床工学科	臨床工学	—	—	—	64 (39)	累計 《 64》

14. 卒業後の進路状況

【大学院】

研究科・課程		進路	人数	修了者数
医学研究科	博士課程	大学・研究機関	116名	181名
		医療機関	25名	
		民間企業	12名	
		その他	28名	
	修士課程	大学・研究機関	6名	85名
		医療機関	11名	
		民間企業	23名	
		進学	18名	
		その他	27名	
	スポーツ健康科学研究科	博士後期課程	教員・研究機関	7名
就職（民間企業・公務員等）			6名	
その他			1名	
博士前期課程		教員・研究機関	13名	73名
		就職（民間企業・公務員等）	36名	
		進学	13名	
		その他	11名	
医療看護学研究科		博士後期課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	1名
	教員・研究機関		5名	
	その他		1名	
	博士前期課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	24名	29名
		教員・研究機関	4名	
		進学	1名	
		その他	0名	
保健医療学研究科 理学療法学専攻	修士課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	13名	19名
		教員・研究機関	2名	
		進学	3名	
		その他	1名	
診療放射線学専攻	修士課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	13名	13名
		教員・研究機関	0名	
		進学	0名	
		その他	0名	
国際教養学研究科	修士課程	教員・研究機関	0名	7名
		就職（民間企業・公務員等）	4名	
		進学	1名	
		その他	2名	

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

【学部】

学部・学科	進路	人数	卒業者数
医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院）	82名	131名
	〃（他大学医学部附属病院）	7名	
	〃（大学病院以外の臨床研修指定病院）	40名	
	その他	2名	
スポーツ健康科学部	教員・研究機関	114名	596名
	就職（民間企業・公務員等）	389名	
	進学	61名	
	その他	32名	
医療看護学部	本学医学部附属病院	174名	205名
	本学以外の医療機関	16名	
	進学	10名	
	その他	5名	
保健看護学部	本学医学部附属病院	106名	128名
	本学以外の医療機関	11名	
	進学	5名	
	その他	6名	
国際教養学部	教員・研究機関	0名	177名
	就職（民間企業・公務員等）	137名	
	進学	17名	
	その他	23名	
保健医療学部 理学療法学科	本学医学部附属病院	26名	113名
	本学以外の医療機関	69名	
	就職（民間企業）	5名	
	進学	12名	
	その他	1名	
診療放射線学科	本学医学部附属病院	5名	117名
	本学以外の医療機関	72名	
	就職（民間企業）	9名	
	進学	21名	
	その他	10名	
医療科学部 臨床検査学科	本学医学部附属病院	18名	96名
	本学以外の医療機関	56名	
	就職（民間企業）	10名	
	進学	11名	
	その他	1名	
臨床工学科	本学医学部附属病院	7名	64名
	本学以外の医療機関	38名	
	就職（民間企業）	7名	
	進学	7名	
	その他	5名	

II. 事業の概要

15. 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

元町ウェルネスパークオープン

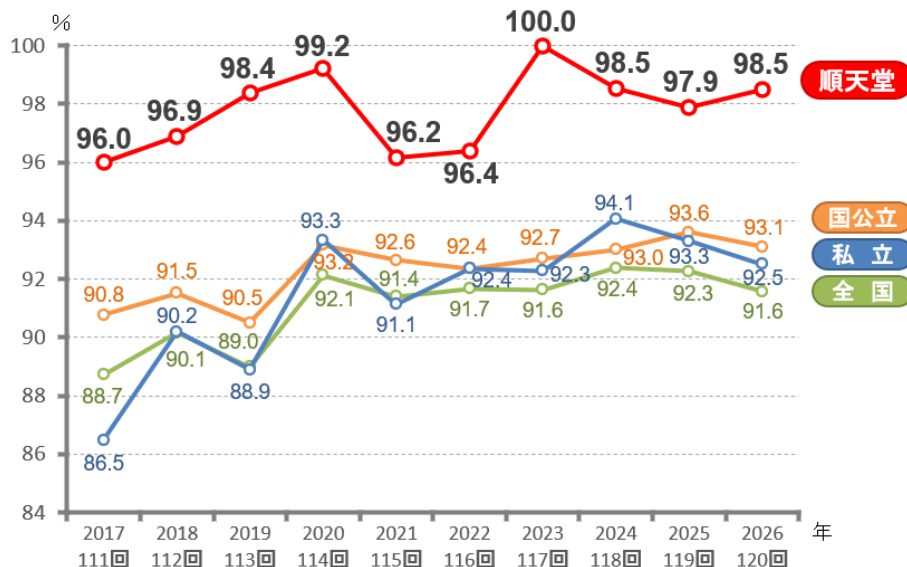
令和7年4月1日に順天堂大学と文京区の協働プロジェクトとして「元町ウェルネスパーク」を開設しました。多世代の健康を支える複合施設として、公共と民間が協働で運営し、「100年後の未来の子どもたちにつながる地域の拠点づくり」をテーマに幅広い事業を行います。令和7年度の主要イベントとしては、施設一体として賑わいをつくる「もとまちフェス」、「ウェルビーイングフェスタ」、「キッズスポーツフェス」等の事業を実施しました。



【大学院医学研究科・医学部】

医師国家試験合格率推移

今年度の第120回医師国家試験では133名（新卒者131名、既卒者2名）が受験をして131名（新卒者130名、既卒者1名）が合格し、合格率は98.5%となりました。合格率は全国国公立大学82校中2位、直近5年間・10年間の平均合格率は全国2位でした。



博士課程秋入学制度1期生の修了

令和4年10月1日より導入した博士課程の秋入学制度において、令和7年9月に初の修了生を輩出しました。令和4年度に入学した第1期生（4名）のうち1名が、3年修了制度を利用して修了しました。秋入学制度の利用者は順調に推移しており、令和5年度は10名、令和6年度は9名、令和7年度は16名と着実に実績を伸ばしています。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】

若手研究者を対象とした育成プログラムの実施（スポーツ庁委託事業）

スポーツ庁委託事業「先端的スポーツ医・科学研究推進事業」の一環として、「若手研究者を対象とした育成プログラム」を実施しています。本研究科独自の「ハイパフォーマンス科学認定プログラム」や社会人等を対象とした1年制大学院、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）との連携大学院を運営しています。実績として、認定プログラムでは博士前期課程学生3名に「ハイパフォーマンス・リサーチャー」を授与し、1年制大学院では修了生2名を輩出、HPSC連携大学院では1名が入学しました。これらの取組により、スポーツ医科学分野の若手研究者育成を推進しています。

教員採用試験・就職率

教員採用試験は、現役生・既卒生の合計で147名（私学専任合格含む延べ人数）が合格しました。うち現役生の合格者数は70名でした。企業就職志望者354名の就職内定率は100%と、引き続き高水準を維持しました。

国際交流活動の活性化

フィリピン・セブ島語学研修プログラムに7名の学生が参加、今年度で3期連続の開催となりました。また、タイ・チュラロンコン大学学生、ベトナム人民公安スポーツ協会、オーストラリア、ニュージーランド代表チームの競技選手を受け入れるなど、活発な国際交流を行っています。

ラグビー場人工芝更新

ラグビー場の人工芝更新工事が完了し令和7年5月29日に引き渡されました。20mmのアンダーパッドを新設したことで、WR(World Rugby;国際ラグビー連盟)の安全基準(HIC; Head Injury Criteria/頭部損傷係数)をクリアしており、安全で快適な環境が提供されています。実技授業やラグビー部や女子蹴球部・アルティメット部の練習・公式戦はもちろん、地域向けスポーツ教室など、さまざまなアクティビティの場として活用されています。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】

看護師・保健師・助産師国家試験合格率

医療看護学部は看護師国家試験合格率が99.0%、過去5年間平均でも99.8%と高水準を維持するとともに、助産師国家試験は合格率100%を継続しています。保健看護学部における国家試験合格率は看護師国家試験100%、保健師国家試験89.8%となり、両学部ともに高水準を維持しています。

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	99.0%	89.7%	100%
保健看護学部	100%	89.8%	—
全国平均（参考）	88.3%	87.1%	99.7%

専門看護師認定実績

大学院医療看護学研究科（博士前期課程）修了生12名が令和7年度専門看護師（CNS: Certified Nurse Specialist）認定試験に合格しました（小児看護分野2名、感染症看護分野1名、母性看護分野2名、在宅看護分野1名、がん看護分野2名、急性・重症患者看護分

野 4 名)。これまでの CNS 合格者数は、慢性疾患看護分野 29 名、小児看護分野 8 名、感染症看護分野 13 名、母性看護分野 5 名、在宅看護分野 7 名、がん看護分野 18 名、精神看護分野 8 名、老人看護分野 7 名、急性・重症患者看護分野 7 名の合計 102 名です。

グローバルナーシングコース

令和 4 年度より大学院医療看護学研究科にて開設した Global Nursing Course (博士前期課程)、Global Nursing Leadership Course (博士後期課程) は、JICA (国際協力機構) と連携して国際的に活躍できる看護の専門家を育成するという日本初の試みで、留学生向けの英語による学位取得コースです。令和 7 年度には新たに Global Nursing Leadership Course (博士後期課程) 2 名の入学者を迎えました。また、同コースから初の修了生 (2 名) を輩出し、大学院への進学を希望する留学生に広く門戸を開いています。

短期海外研修

短期海外研修では、医療看護学部から、MOU 締結校であるタイのタマサート大学における研修 (授業科目として 2 単位) に、3 名が参加しました。保健看護学部からは、MOU 締結校であるフィンランドのユヴァスキュラ応用科学大学における研修に 13 名、ウズベキスタンでの研修に 24 名が参加しました。

【大学院国際教養学研究科・国際教養学部】

海外留学・研修、英語集中学習プログラム、海外との交流

海外留学 (短期・長期) は、令和 7 年度の留学先は 12 ヶ国となりました。令和 7 年度内に留学、研修を開始した学生は次の通りです。

期間	人数	内訳
長期 (1 年未満)	8 名	フランス 4、アメリカ 1、オーストラリア 3
長期 (セメスター)	1 名	カナダ 1
中期 (3 ヶ月未満)	6 名	フィンランド 6
短期 (1 ヶ月未満)	76 名	中国 2、フランス 10、フィリピン 58、ニュージーランド 5、マレーシア 1
短期 (2 週間未満)	51 名	中国 16、アメリカ 12、フィリピン 3、韓国 6、インド 10、カンボジア 4

フィリピン・セブ島現地での英語集中学習プログラムは、57 名の学生が約 1 ヶ月間の研修に参加しました。またセブ島では夏季にフィールドスタディーを実施し、現地で使われる言語の見識を深め、課題提起型アプローチにより貧困・ジェンダー・保健医療に関する問題に取り組むグローバル英語実践研修を行い、この課題提起型グローバル英語実践研修は春季にアメリカハワイ州でも行いました。フィールドスタディーは夏季カンボジア、春季カンボジアでも行われています。海外の大学との交流では、中国の北京大学、ニュージーランドのリンカーン大学、フィンランドのユヴァスキュラ大学での短期研修を行いました。

その他、中国、アメリカ、フランス、韓国などでは語学力習得とともに文化、歴史を学びながらライフスタイルを体験し異文化理解を深めてグローバルな視野を拓けることができる機会に多くの学生が参加しました。

また 1 年間の特別聴講生として中国河南師範大学から 4 期生 12 名と、フランス国立東洋言

語文化学院（INALCO）から2期生9名、新たに台湾の高雄医科大学、長夷大学から各1名の交換留学生を受け入れ、日本語・日本文化伝統教育カリキュラムの充実と、課程内外で本学部生との有意義な交流が続いています。更にシンガポール国立大学から13名と、北京大学から19名の短期海外研修留学生を受け入れました。

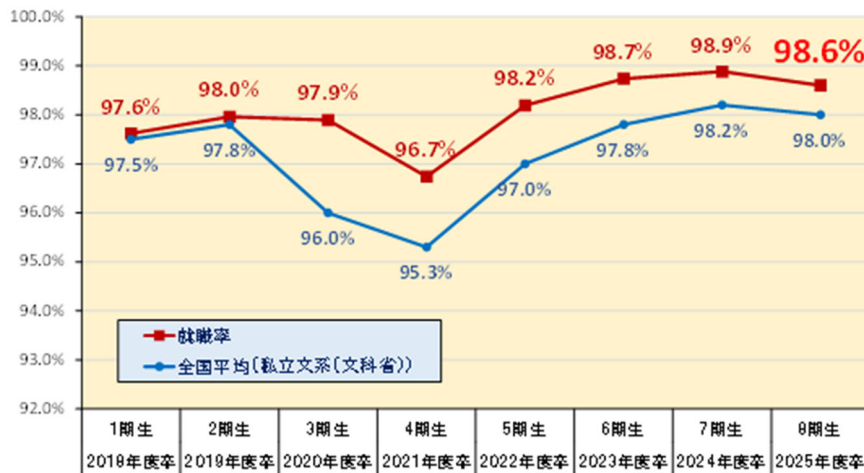
UNHCR 難民映画祭パートナーズ上映会

国連機関の一つである UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) は難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に向けた取り組みを行っており、本学は大学パートナーズとして毎年難民映画を上映し、これを「公開講座」として学外の方々にも参加頂いています。令和7年度は『学校を作る、難民の挑戦 “The Staging Past”』を上映し、運営委員会の学生と教職員が準備・運営にあたりました。上映会終了後は、難民支援に向けての一步を踏み出すためのワークショップを実施し、一般参加の方々と一緒に、難民の人たちの心の痛みに寄り添い世界の一員として自分にできることは何かを考えるきっかけとなりました。

企業就職率・教員採用試験・大学院進学

令和7年度4年生（第8期生）の企業・公務員・教員就職志望者138名の就職内定率は98.6%となり、第1期生からの8年間平均内定率は98.1%と高い水準を維持しました。

教員志望者は公立学校教員採用試験に9名が合格し、学部開設後累計の合格者は45名、私立学校を含めた教員就職者は49名となりました。進学希望者は、本学大学院医学研究科10名を含め、17名が国内外の大学院・大学・各種学校へ進学しました。



大学院国際教養学研究科の第1期修了生

グローバル化された社会が抱える課題解決に必要な分野横断・学際的な知識・教養である国際教養学を教授し、学士課程で培われた教養教育に裏打ちされた専門的素養を一層向上させ、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材養成を目的に、令和6年度に大学院国際教養学研究科修士課程を設置し、2年間の研究成果を修士論文としてまとめ上げて最終審査に合格した7名に対して学位を授与し、第1期修了生となりました。

大学院国際教養学研究科博士後期課程の設置認可

分野横断的かつ学際的な視点から多様な知識と教養を統合し、新たな知見や価値を創出できる創造性豊かな研究者を養成することを目的として、令和7年3月に文部科学省へ設置認可申請を行った大学院国際教養学研究科博士後期課程（入学定員3名）が、令和7年8月29日付で認可されました。

【大学院保健医療学研究科・保健医療学部】

理学療法士・診療放射線技師国家試験合格率

保健医療学部では、理学療法士国家試験合格率が100%、診療放射線技師国家試験が95.8%と高い合格率を記録しました。理学療法学科は1期生から4年連続の合格率100%を達成し、診療放射線学科も4年連続合格率95%以上と高い水準を維持しています。合格者を毎年100名以上輩出しているのは全国で本学部のみとなっています。

	受験者	合格者	合格率
理学療法士国家試験	113名	113名	100.0%
診療放射線技師国家試験	119名	114名	95.8%

大学院保健医療学研究科博士後期課程の開設

理学療法学・診療放射線学に関する専門的知識や技術の基本的応用能力及び当該分野の諸問題に対して体系的に整理し客観的に分析する能力を持つ人材を養成するため、令和7年4月に大学院保健医療学研究科博士後期課程を開設しました。1期生として、理学療法学専攻4名、診療放射線学専攻4名が入学しました。

【医療科学部】

国家試験の合格実績と資格取得

学部完成年度を迎え、1期生が国家試験に臨みました。その結果、第72回臨床検査技師国家試験では新卒合格率100%（受験者96名全員合格）を達成しました。第39回臨床工学技士国家試験においても、新卒合格率90.6%（全国平均75.2%）と高い合格率となり、本学の優位性を示すことができました。また第1種ME技術実力検定試験（5名合格）、心電図検定（182名合格）、遺伝子分析科学認定士（26名合格）等、多数の合格者を記録し、高い専門性を証明しています。

国際交流の推進

MOU締結校であるカンボジアのプティサストラ大学及びタイのタマサート大学において、海外短期研修を継続実施しました。途上国医療の実情や実践的な人工心肺・透析技術を現地で学ぶことで、グローバルな視点を備えた医療人の育成を推進しています。

大学院医療科学研究科修士課程（臨床検査学専攻／臨床工学専攻）の開設準備

令和8年4月の大学院修士課程開設に向けた準備を完了し、設置届出が受理されました。入学試験では、募集定員10名に対し、病院現場で働く現役の医療従事者6名を含む18名（臨床検査学専攻6名／臨床工学専攻12名）の優秀な1期生が入学予定です。高度な専門性を持つ臨床スペシャリストや、企業のR&Dを担う次世代の人材育成に向けた教育・研究基盤を整備しています。

【大学院健康データサイエンス研究科・健康データサイエンス学部】

大学院健康データサイエンス研究科の開設

令和7年4月に博士前期課程及び博士後期課程を同時に開設しました。文部科学省の大学・高専機能強化支援事業による助成を受けています。1期生は博士前期課程27名、博士後期課程11名が入学し、既存の大学院医学研究科修士課程のデータサイエンス学位プログラムと合

わせて、データサイエンス分野では国内最大規模となる大学院生 120 名超を擁する教育・研究拠点が本格始動しました。

全学的なデータサイエンス教育の牽引

全学組織「数理・データ科学教育研究センター」を核とし、本学部を含む 3 学部において、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」の認定を受けました。全学的なデータサイエンス教育を牽引しています。

次世代育成イベント「Round 0」の開催

高校生を対象としたデータサイエンス体験イベント「未来創造データサイエンス・チャレンジ：Round0」を開催しました。対面 28 名、オンライン 35 名の計 63 名が参加し、本学の学部学生・院生 24 名がメンターとして分析をサポートしました。参加者の満足度は極めて高く（5 段階評価で満足度 4 以上が 97.7%）、次世代のデータサイエンス人材育成に大きく貢献しました。なお、令和 8 年 8 月には、本コンテストの発展形となる「Round1」の開催を予定しています。

キャリア形成支援の強化

IT・コンサル・商社等 60 以上の企業・団体が参加する「キャリア形成支援セミナー」を開催し、個別ブースでの説明会やプレゼンテーションを実施しました。本学初の工学・情報系分野の学部として、部学生・大学院生が多様なキャリアパスを構築できるよう、手厚い支援体制を整えています。

国際交流の展開と MOU 締結

インドネシア・アイルランガ大学との国際交流協定（MOU）に基づき、医学生 6 名の実習受け入れ等の学術交流を開始しました。また中国・清華大学とも MOU を締結し、附属病院での研修を実施する等、アジア圏を中心とした国際ネットワークを拡大しています。

【薬学部】

薬学研究棟・教育棟・薬用植物園整備完成

令和 7 年 1 月に竣工した浦安・日の出キャンパス 3 号館（研究棟）・4 号館（教育棟）について、4 月より本格的に使用を開始しました。薬用植物園の整備も完了し、教育・研究環境が更に充実しました。

薬学部研究棟完成記念シンポジウム

令和 7 年 6 月 14 日に薬学部研究棟完成を記念したシンポジウムを開催しました。基礎研究の第一線で活躍する研究者や製薬業界の専門家を招き、薬学・創薬研究の最前線について薬学部生に講演頂きました。内容は、オートファジー等の基礎研究から医薬品開発、日本の創薬力強化まで多岐にわたり、学生にとって将来の進路を考える貴重な機会となりました。

医療プロフェッショナルリズム入門Ⅱ実施

2 年生が多職種連携教育の一つである「医療プロフェッショナルリズム入門Ⅱ」にて在宅医療・地域包括ケアにおける薬剤師の役割を学ぶために 8 月から 9 月にかけて介護体験実習を行いました。今後さらに多職種連携の学びを深化させていきます。

大学院薬学研究科の設置認可

令和7年8月29日付で大学院薬学研究科博士課程（薬学専攻、入学定員5名）が認可されました。本研究科では、創造性と優れた研究開発力を備え、アカデミア・医療・産業・行政など多様な分野で中核を担う薬学研究者を養成する「先進薬学研究コース」と、臨床と研究を融合し、根拠に基づく医療（Evidence-Based Medicine：EBM）の創出を担う臨床研究能力の高い薬剤師を養成する「臨床薬学研究コース」を設けています。創薬から臨床実践までを俯瞰する高度な専門性と国際発信力を備え、医療・研究・教育・産業を横断して社会に貢献できる人材の育成を推進します。

16. 臨床活動の主な概要

【順天堂医院】

パーキンソン病センターの設置

患者数の増加が予測されるパーキンソン病に対し、令和7年4月に「パーキンソン病センター」を新設しました。当センターでは、脳神経内科を中心に、脳神経外科、リハビリテーション科、メンタルクリニック、食道・胃外科、皮膚科など複数の診療科が密接に連携し、高度な医療機器を用いた治療や多角的なリハビリテーションを包括的に提供します。また専門看護師による相談支援外来において公的サービスの導入や療養指導を行い、患者一人ひとりに最適なサポートを行う体制を構築しています。専門的な医療技術と多職種によるチーム医療を融合させることで、患者の生活の質の向上を目指しています。

頭頸部がんセンターの設置

鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、顔面等、複雑な部位に発生する頭頸部がんに対応するため、令和7年4月に「頭頸部がんセンター」を新設しました。近年、頭頸部がんの診療は医療技術の進歩に伴い飛躍的に発展しており、より専門性の高い診療が求められております。当センターでは最新の医療技術を取り入れ、各診療科が連携する総合的な医療体制を整えることで、患者が治療後も自分らしく生活できるよう支援しています。

病院運営戦略室の設置

病院運営の最適化を図るため、令和7年7月に「病院運営戦略室」を新設しました。医療情報システムをはじめとする全ての病院システムのデータを利活用することで収支等の分析を行い、根拠に基づいた戦略的運営計画を立案し、各部門に浸透・実行させることで、効率の良い病院運営を目指しています。

総合診療科外来の移転

令和8年3月16日に総合診療科外来が1号館1階1A外来からB棟1階救急プライマリケアセンターに移転しました。総合診療科と救急科の連携を更に強化して外来診療を実施し、より多くの患者対応を行います。

【静岡病院】

SCU（脳卒中ケアセンター）の新設

静岡県東部及び伊豆半島における脳卒中急性期診療体制の強化を目的として、令和7年9月より、新たに脳卒中ケアセンター（SCU：Stroke Care Unit）12床を新設しました。運用開始以降、地域の医療機関から多数の紹介もあり、病床利用率99.1%、1日平均入院患者は11.9人と極めて高い稼働実績を維持しています。当SCUでは、脳神経外科医、脳神経内科医をはじめとする脳卒中専門医による超急性期脳卒中に対応する体制を整えています。

地域医療連携推進法人の連携促進

令和7年度に、地域医療連携推進法人に新たに公益財団法人伊豆保健医療センターが加わり、計7病院となりました。今後も医療連携の推進・強化を図ります。また医療連携における業務の円滑化を目的に地域医療連携システムを導入し、医療情報の共有化を進めています。

看護師特定行為研修

看護師特定行為研修として、新たに「呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連」を開講し、計 12 区分 28 行為（3 パッケージ）の研修を行いました。院内 11 名、院外 2 名の受講生が特定行為研修を修了し、令和 7 年度末時点で 38 名が在籍しています。

大規模地震時医療活動対応訓練

令和 8 年 2 月に当院において医師、看護師、事務職員等約 75 名の多職種が参加しエマルゴ方式を用いた「大規模災害時対応机上訓練」を実施しました。本訓練は、駿河湾沖合を震源とする大規模地震の発生から 48 時間が経過した状況を想定し、東部地域の災害拠点病院としての機能維持及び急性期から亜急性期への移行に伴う運営体制の検証を目的としています。訓練では、災害対策本部における迅速な情報収集と組織運営、外来トリアージや広域搬送の受け入れ準備に加え、県・市町・消防等の外部関係機関との情報連携について実戦的なシミュレーションを行いました。今回の訓練を通じて得られた課題や知見を今後の災害対応マニュアルに反映させ、地域医療の継続に向けた体制強化に取り組む予定です。

基幹ネットワーク更新とサイバーセキュリティ対策の強化

前回整備から 7 年経過した無線と基幹ネットワークを更新し、高速通信かつ新規格に対応するネットワークの基盤整備と共に、サイバーセキュリティ対策として電子カルテ PC での対策（EDR）に加え、ネットワーク機器（NDR）による監視強化を図っています。

【浦安病院】

分娩室の LDR 化（3B 病棟）

分娩室の老朽化に伴う改修ならびに機能向上を目的に、5 室の LDR（※）を整備しました。LDR 化により、陣痛から分娩、産後の回復までを同室で一貫して行うことが可能なため、分娩の緊急対応力、安全性、快適性が向上しました。同室は昨今ニーズの高い無痛分娩にも対応可能となり、今後より一層の受入れを促進させていきます。

※LDR：陣痛（Labor）・分娩（Delivery）・回復（Recovery）の頭文字をとったもので、陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室のこと。

放射線治療装置の更新

バリアン社製「高精度放射線治療装置（TrueBeam）」へ更新し、4 月 1 日より運用を開始しました。当装置は正確な線量を短時間で照射可能であり、患者の負担軽減をはじめ、病態に合わせた多岐にわたる治療法が選択可能となりました。最先端の治療装置によってがん治療の選択肢を広げ、安心で安全な放射線治療の提供に努めていきます。

キルギス国立商工会議所による病院見学

5 月 16 日にキルギス国立商工会議所医療製薬分科会の医療従事者等 8 名が視察のため来訪しました。先方より要望のあったフットケアセンター、泌尿器科、感染対策室の診療内容について紹介を行い、放射線科、がん治療センターの施設見学を行いました。各所で活発な意見交換が行われ、非常に実りある国際交流となりました。

耳鼻咽喉科外来、リハビリテーション科外来のリニューアル

耳鼻咽喉科外来及びリハビリテーション科外来の改修工事が完了し、7 月 28 日より新たな外来で診療を開始しました。耳鼻咽喉科外来では、老朽化していた聴力検査室や平衡機能検

査室などの施設・設備を一新し、リハビリテーション科外来では、新たに心臓リハビリテーション室を設置し、より良い診療環境が整備されました。快適な空間で、より良質な医療を提供していきます。

災害訓練

9月27日、首都直下型地震を想定した災害訓練を行いました。富士通 Japan 株式会社との共同研究講座における教職員安否確認システムの実証実験を含め、発災直後の災害対策本部の立ち上げ、被害状況確認までの一連の流れを確認しました。災害対応にデジタル技術を用いたことによるリアルタイムな情報収集や共有が出来るようになった一方で、アクションカードの内容整備など様々な課題が挙がり、収穫の多い実証訓練となりました。引き続き、より良いシステム構築を目指し、災害時に活用しやすい環境整備を進めていきます。

【順天堂越谷病院】

広報活動の強化

広報活動の一環として、病院内ホールや近隣の市民会館において市民公開講座を開催しています。令和7年度は全6回開催し、近隣住民や患者等に対して、診療だけでなく、新病院についてお知らせしています。この市民公開講座は、後日、動画をオンデマンド形式でいつでも視聴できるよう対応しています。

整形外科の体制強化

新病院開院に向けて、令和7年4月より、整形外科の常勤医師が着任しました。整形外科の一般及び専門外来を開設し、中高年を中心に多くの診察を行っています。

水防訓練の実施

順天堂越谷病院は、洪水時における浸水想定区域内にある要配慮者利用施設であるため、「越谷市地域防災計画」により、避難訓練の実施が義務付けられています。今年度は、初めて夜間想定による水防訓練を実施し、夜勤体制時における限られた人員で、指揮系統や連絡体制、情報収集、患者避難等を確認しました。

再編計画進捗状況

埼玉県から認められた一般病床200床増床に伴い、令和6年7月より新病院建設の準備工事が始まり、令和8年9月に引渡し予定です。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

救急患者の応需の強化

地域住民の期待に応えるべく、「断らない救急」を徹底し、救急応需率75%を目標にしました。ここ数年は毎年10%ずつの増加を示し、令和7年度は70%を超過しました。救急車の受入台数は、休日・夜間は1,668台、全日は2,400台を目標とし、目標まであと一歩となっています。今後も消防署からの信頼を得て、救急搬送数の増加に努め、応需数を増加させます。また災害拠点病院として、救急室が中心になり、行政と連携して大規模災害に備えた実践的体制整備を推進しています。

リハビリテーションの強化

生活機能と人生の質の維持を見据え、リハビリテーションの量と質を強化しています。全患者へのリハビリ介入と土日リハビリを推進しています。令和4年以降のリハビリ件数は毎年10,000件ずつ増加しています。

医療連携強化

9月に医療連携フォーラムを開催し、近隣医師会、連携医等135名に出席頂きました。近隣3区の医師向けに最新の診療ガイドライン及びエビデンスと医療情報の提供を目的とした「高齢者医療に関するWEB学術講演会」を年5回開催しました。また宮内院長及び地域医療連携室、認知症疾患医療センターが地域の病院、クリニック、長寿サポートセンターを訪問し、連携強化に努めています。

医療DX推進体制整備加算

7月より再来受付機をマイナンバー対応としました。12月に保険証が廃止された影響もあり、利用率は半年で30%以上増加しました。利用率の増加に伴い、令和8年1月より医療DX推進体制整備加算を加算6から5に繰り上げました。

アミロイドPETの実施拡大

アミロイドPETの実施によりアルツハイマー型認知症の早期発見、早期治療が可能となっています。今年度は近隣の医療機関からの紹介で実施することも多く、地域医療に貢献することが出来ています。

PET-CT装置の更新

2月にPET-CT装置を更新しました。PET-CT検査は年間約700件実施されており、令和5年以降は、アルツハイマー病治療薬「レカネマブ」の適応判定や投与後の副作用の確認等にも使用しています。高齢者医療を専門に掲げ、近隣地域の認知症治療の中核を担う当医療センターにおいて、重要性が高い機器です。東京都が進める認知症医療施策の充実に合致する機器であることから、東京都が費用を全額負担しました。

【順天堂練馬病院】

開院20周年

平成17年に順天堂大学の6番目の附属病院として開院し、令和7年7月1日に20周年を迎えました。練馬区行政、区議会の皆さまの支援と、練馬区医師会をはじめとした医師会、地域医療機関のご協力のおかげで、地域医療の中心病院として貢献しています。7月1日には20周年記念祝賀会を開催し、練馬区長や医師会をはじめ多数の方々にご臨席賜りました。順天堂の校歌を声高らかに歌い、盛会に終えることができ、今後も“チーム練馬”として安全で高度な医療の提供にむけ気持ちを新たにす機会となりました。

救急の日 東京消防庁救急部長感謝状

9月9日「救急の日」に当院に東京消防庁救急部長感謝状が贈られました。「多年にわたり救急行政に深い関心と理解を示し、その推進に積極的に協力し救急業務の充実発展に多大な貢献をした」功績に対する表彰であり、当院の長年の救急医療への取組みと実績を高く評価して頂いたものです。この度の榮譽を励みに、今後なお一層救急医療に注力していきます。

令和7年度新興感染症対応訓練実施

11月5日に令和7年度新興感染症対応訓練を開催しました。新興・再興感染症に関する講義や感染が疑われる患者の検査依頼から検体採取までを想定した一連の流れについて、患者受入・診察・検体提出までの訓練を練馬区保健所や近隣の医療機関と連携して実施しました。

令和7年度練馬区民表彰・自治功労

11月7日に当院の杉田学副院長と岩崎登事務部長に対し、令和7年度練馬区民表彰・自治功労が授与されました。練馬区では地方自治の振興発展に貢献した方々の功績をたたえるために、昭和52年度から区民表彰を実施しています。今回の受賞理由は、練馬区災害医療運営協議会委員としての多年にわたる貢献が認められたものです。

令和7年度消費者支援功労者表彰

当院の杉田学副院長が消費者支援功労者表彰において、「内閣府特命大臣表彰」を受けました。これは、消費者利益の擁護および増進を図るため、消費者支援活動に顕著な功績のあった個人または団体・グループを表彰する制度で、当院が請け負っている国民生活センターの事故症例収集事業への長年の貢献などが評価された結果によるものです。

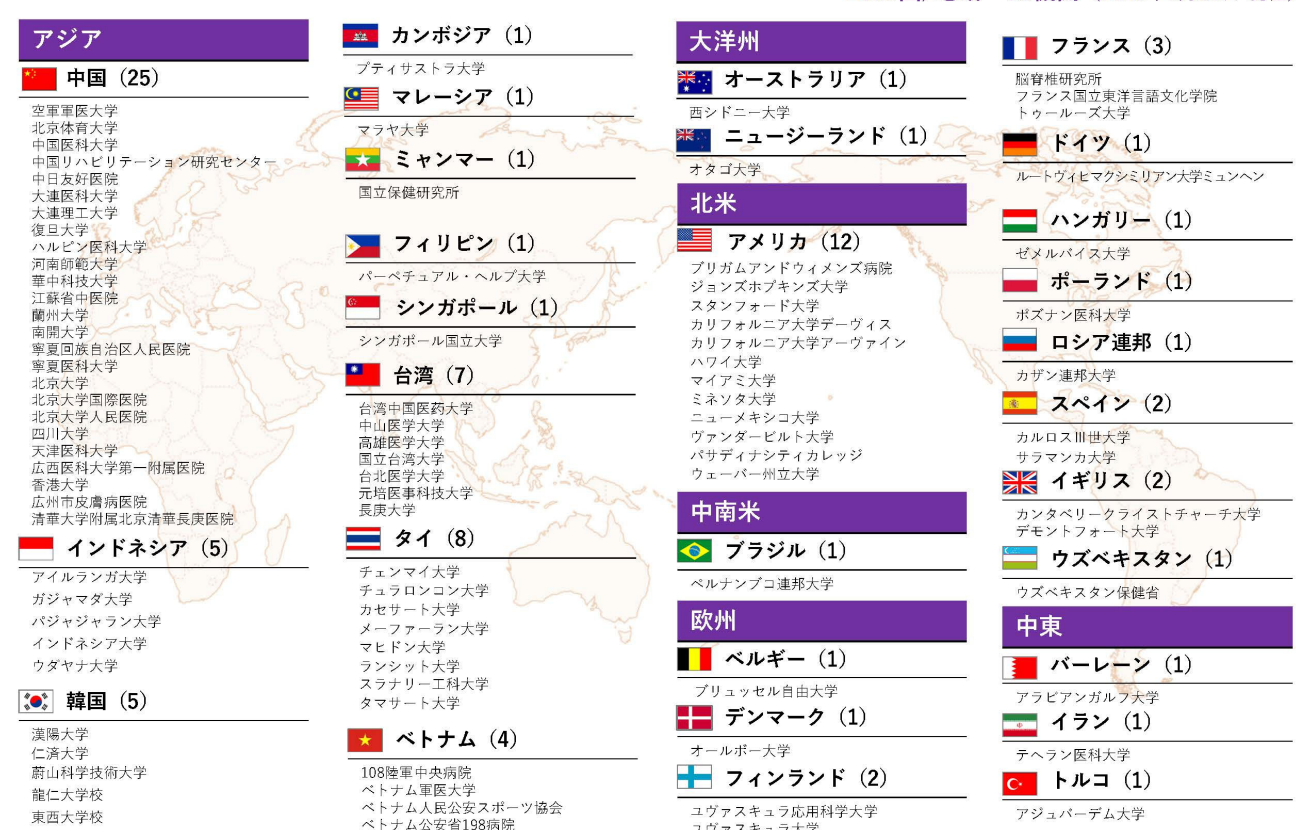
17. 国際交流活動

【大学交流協定について】

長庚大学（台湾）、ウダヤナ大学（インドネシア）、トゥールーズ大学（フランス）、ユヴァスキュラ大学（フィンランド）、ウェーバー州立大学（アメリカ）、ベトナム公安省 198 病院（ベトナム）清華大学附属北京清華長庚医院（中国）と協定を新たに締結し、協定機関は 29 カ国／地域、93 機関となりました。

海外協定機関一覧

29カ国/地域・93機関（2026年3月31日 現在）



地域	国・地域	機関数	機関名
アジア	中国 (25)	空軍軍医大学 北京体育大学 中国医科大学 中国リハビリテーション研究センター 中日友好医院 大連医科大学 大連理工大 復旦大学 ハルビン医科大学 河南師範大学 華中科技大学 江蘇省中醫院 蘭州大学 南開大学 寧夏回族自治区人民醫院 寧夏医科大学 北京大学 北京大学国際醫院 北京大学人民醫院 四川大學 天津医科大学 広西医科大学第一附属医院 香港大学 広州市皮膚病医院 清華大学附属北京清華長庚医院	
	カンボジア (1)	プティサストラ大学	
	マレーシア (1)	マラヤ大学	
	ミャンマー (1)	国立保健研究所	
	フィリピン (1)	パーベチュアル・ヘルプ大学	
	シンガポール (1)	シンガポール国立大学	
	台湾 (7)	台湾中国医药大学 中山医学大学 高雄医学大学 国立台湾大学 台北医学大学 元培医事科技大学 長庚大学	
	タイ (8)	チェンマイ大学 チュラロンコン大学 カセサート大学 メーファアラン大学 マヒドン大学 ランシット大学 スラナリー工科大学 タマサート大学	
	インドネシア (5)	アイルランガ大学 ガジャマタ大学 バジャジャラン大学 インドネシア大学 ウダヤナ大学	
	韓国 (5)	漢陽大学 仁済大学 蔚山科学技術大学 龍仁大学校 東西大学校	
	ベトナム (4)	108陸軍中央病院 ベトナム軍医大学 ベトナム人民公安スポーツ協会 ベトナム公安省198病院	
	大洋州	オーストラリア (1)	西シドニー大学
		ニュージーランド (1)	オタゴ大学
		北米	アメリカ (12) ブリガムアンドウィメンズ病院 ジョンズホプキンス大学 スタンフォード大学 カリフォルニア大学デーヴィス カリフォルニア大学アーヴァイン ハワイ大学 マイアミ大学 ミネソタ大学 ニューメキシコ大学 ヴァンダービルト大学 バサディナシティカレッジ ウェーバー州立大学
	中南米	ブラジル (1)	ベルナンブコ連邦大学
欧州	ベルギー (1)	ブリュッセル自由大学	
デンマーク (1)	オールボー大学		
フィンランド (2)	ユヴァスキュラ応用科学大学 ユヴァスキュラ大学		
フランス (3)	脳脊髄研究所 フランス国立東洋言語文化学院 トゥールーズ大学		
ドイツ (1)	ルートヴィヒマクスミリアン大学ミュンヘン		
ハンガリー (1)	ゼメルバイス大学		
ポーランド (1)	ボズナン医科大学		
ロシア連邦 (1)	カザン連邦大学		
スペイン (2)	カルロスIII世大学 サラマンカ大学		
イギリス (2)	カンタベリー・クライストチャーチ大学 デモンフォート大学		
ウズベキスタン (1)	ウズベキスタン保健省		
中東	バーレーン (1)	アラビヤンガルフ大学	
イラン (1)	テヘラン医科大学		
トルコ (1)	アジュバーデム大学		

【順天堂大学教員のサバティカル研修について】

教員のサバティカル研修制度を実施しています。サバティカル研修とは、教育・研究の遂行に必要な資質の向上を図るため、教員自らが研究目標を定めて一定の期間にわたり国内外の教育・研究機関において研究活動に専念する研修のことを指します。海外で学位を取得した研究者や海外での教育研究歴を有する者の獲得、または若手教員のキャリア支援にとって有効な制度の一つとして考えられており、国内外の多くの大学が取り入れています。

本学にとって、国際化を推進し、優秀で多様な人材を育成・確保していくことは喫緊の課題となっています。また優秀な若手教員のグローバル・ファカルティ・ディベロップメントのニーズに応えることは本学の発展に欠かせません。令和7年度には4名が研修を開始しました。

学部	派遣人数	研修先
医学部	4名	アメリカ2、カナダ2
国際教養学部	1名	アメリカ1

【留学生の研修・交流活動について】

「留学」の在留資格を有する長期外国人留学生は23カ国／地域 496名在籍しました。

○ 外国人留学生【在留資格：留学】 (令和8年3月31日時点)

No	国籍	人数	No	国籍	人数	No	国籍	人数
01	中国	422	10	ベトナム	3	19	インド	1
02	台湾	13	11	ネパール	2	20	ナイジェリア	1
03	韓国	12	12	バングラデシュ	2	21	コンゴ共和国	1
04	ミャンマー	7	13	マレーシア	2	22	オーストラリア	1
05	メキシコ	5	14	コンゴ民主共和国	2	23	グアテマラ	1
06	タイ	4	15	米国	2			
07	パキスタン	3	16	フランス	2			
08	インドネシア	3	17	ハンガリー	2			
09	モンゴル	3	18	ウズベキスタン	2	合計：23カ国／地域 496名		

※集計対象：学部生、大学院生、研究生

○ 海外機関からの短期研修生 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

No	国籍	人数	No	国籍	人数	No	国籍	人数
01	中国	66	15	スペイン	5	29	ブルガリア	1
02	ドイツ	50	16	フランス	5	30	ポーランド	1
03	タイ	36	17	ベトナム	5	31	モロッコ	1
04	台湾	34	18	オーストリア	4	32	ヨルダン	1
05	英国	33	19	カナダ	2	33	ロシア	1
06	米国	30	20	ニュージーランド	2			
07	オーストラリア	21	21	マルタ	2			
08	マレーシア	18	22	メキシコ	2			
09	シンガポール	17	23	アイルランド	1			
10	インドネシア	12	24	イタリア	1			
11	インド	11	25	ウズベキスタン	1			
12	日本	10	26	デンマーク	1			
13	フィリピン	9	27	パキスタン	1			
14	韓国	8	28	ブラジル	1	合計：33カ国／地域 393名		

※海外の大学に在籍する日本人学生を含む。

※学生以外の医師・研究者等を含む。

【学術交流について】

大学間交流イベント等を開催しました。

開催日	相手先	内容
4月25日	広州市皮膚病医院（中国）	同機関関係者来訪・協議
5月 2日	北京大学医学部（中国）	同機関関係者来訪・協議
6月11日	北京体育大学教育学院（中国）	オンラインシンポジウム開催
6月19日	北京大学医学人文学院（中国）	同機関関係者来訪・協議
7月16日	中日友好医院（中国）	同機関関係者来訪・協議
7月24日	ベトナム公安省 198 病院（ベトナム）	同機関関係者来訪・協議
8月 1日	河南師範大学（中国）	同機関関係者来訪・協議
9月 9日	中日友好医院看護部（中国）	同機関関係者来訪・研修実施
9月17日	寧夏回族自治区人民医院（中国）	同機関関係者来訪・協議
9月17日	浙江省衛生健康委員会、浙江省腫瘍医院（中国）	同機関関係者来訪・協議
10月17日	四川大学（中国）	同機関関係者来訪・協議
10月24日	仁済大学（韓国）	ジョイントセミナー開催・協議
11月 6日	北京大学医学部（中国）	国際学術シンポジウム開催
11月10日	日中友好協会関係者及び中国の大学院生（中国）	講演開催
11月18日	上海交通大学医学院附属瑞金病院看護部（中国）	同機関関係者来訪・研修実施
1月 7日	エマニュエルカレッジ（アメリカ）	同機関関係者来訪・協議
3月10日	チュラロンコン大学（タイ）	同機関関係者来訪・協議

18. 文部科学省等採択事業の概要

私立大学等研究設備整備費等補助金・私立学校施設整備費補助金

令和7年度文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）」に大学院医学研究科研究基盤センター形態解析イメージング研究室から事業申請した研究設備「ベンチトップコンフォーカルマイクロスコープ BC43」が採択されました。また令和7年度私立学校施設整備費補助金（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費）に大学院医学研究科ウイルス学／大学院医学研究科研究基盤センター細胞機能研究室から申請した研究装置「Hyperion Xti イメージング解析システム一式」が採択されました。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」（事業期間：令和4～9年度／代表機関：東京科学大学、共同実施機関：順天堂大学）に採択されています。本事業では、「グローバル女性リーダーの育成・輩出」と「医療系大学における女性上位職登用促進モデルの構築」を目的として、数値目標を掲げています。令和7年度は、女性研究者の上位職への登用や女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備、また意識啓発のためのグローバル女性リーダーを講演者に迎えたシンポジウムや次世代のリーダー候補となる若手女性研究者向けの勉強会等を開催しました。今後もこれらの取組を継続し、女性研究者が活躍できる環境づくりを推進していきます。

研究拠点形成費等補助金事業

文部科学省研究拠点形成費等補助金「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」（代表校：東京科学大学、連携校：順天堂大学、慶應義塾大学、国際医療福祉大学、東海大学、東京歯科大学、東京薬科大学／補助事業期間：令和5～10年度）に採択されています。本事業では、①現場で顕在化している課題、②予防の推進、③新たな治療法の開発、というがん医療のテーマを解決するため「専門的な多職種人材」の養成を目的としています。本事業の特色は首都圏の7大学においてチーム医療が実践できる多職種のがん専門医療人の養成プラン（大学院正規課程及びインテンシブコース）を開発し、がんの予防、診断・治療、個別化医療、痛みのケア、サバイバーのケアなど全てのステージにおいて集学的治療が提供できる体制を我が国に構築することを目指しています。

統計エキスパート人材育成プロジェクト

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所が中核機関となる令和7年度文部科学省人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金「統計エキスパート人材育成プロジェクト」の参画機関として、大学院生等に対してデータ分析等の基礎となる統計学の講義や統計活用研究の指導を行うことができる「大学統計教員」を育成します。これらの教員が中核となり、さらに全国の大学等で「統計エキスパート」を育成する体制の構築を目指します。

高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援）

令和6年度に採択された当該事業では、東南アジアを中心とした国際的な大学間の研究センター、教育ネットワークを構築し、国際共同研究を行っています。また汎用人工知能 Artificial General Intelligence (AGI) 技術が優れている企業（ソフトバンク）や電気通信大学、臨床推論、希少疾患の研究に優れる佐賀大学と連携し研究を行っています。グローバル AGI 総合診療・感染症研究・教育推進室を立ち上げ、AGI を用いた臨床、研究、教育を推進させるため①世界の

感染症の流行、診断、②症候学、臨床推論、③ポルフィリン症やウィルソン病等希少疾患、④診療の効率化、⑤医学教育の効率化、有効性に関する研究を開始し、加えてグローバル AGI 総合診療・感染症研究・教育推進プログラムを日本語、英語で作成し、連携している大学間の教育ネットワークを用いて履修プログラム、博士課程においても提供することを進めます。更に研究、教育に関して当該プログラムを SA・TA・SA 制度にも構築し、診療参加型臨床実習の充実を目指し取組んでいきます。

地域中核・特色ある研究大学 施設整備事業

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学 施設整備事業（提案大学：順天堂大学、連携機関：山梨大学）」（令和 5 年度採択）について、「高齢者を加齢性疾患から守った上で、若年者を含む全世代の生活向上と健康増進を図る」という地球規模の社会課題の解決のため、臨床に直結する神経科学研究全般分野の特色ある実績を活かし、当該分野のパラダイムシフトに関わる重要な学際領域であるグリア細胞研究に実績を有する山梨大学と連携し、世界トップクラスの研究力の向上、拠点発スタートアップの創出を目指し、変革に対応しうる人材を育成し、この若手人材を核とした新たな当該研究領域における産学官連携ハブとして相補的な機能を有する拠点施設ニューロン-グリア クロストークセンター順天堂（NGCC 順天堂）を整備し、山梨大学が整備するニューロン-グリア クロストークセンター山梨（NGCC 山梨）と強固に連携します。令和 7 年度は建物内部の什器・AV 機器・LAN 環境等を整備しました。令和 8 年度は、山梨大学や海外の大学と連携し、また AMED 医学系研究支援事業（令和 7 年度採択、令和 7 年 10 月開始）名古屋大学、岡山大学との連携の場として活用し、当該学際領域を核とした幅広い分野の研究力向上を加速します。また本学は、立命館大学を代表機関とした事業「世界を牽引する身体圏研究の研究推進・人材育成拠点となり研究と社会実装を循環させる次世代研究大学となる」の分担機関として当該事業の中核となる「身体圏」研究領域の創生に向けた取組の実現を目指します。

JST 共創の場形成支援事業（COI-NEXT）

JST 共創の場形成支援事業（COI-NEXT）の共創タイプ・育成型「災害など危機的状況から住民を守る レジリエントな広域連携医療拠点」（令和 5 年度採択）について、本拠点のビジョン、ターゲット、研究開発課題のブラッシュアップ、産学官連携強化、事業化に繋げるための MR4A コンソーシアムの設立を行いました。また元町ウェルネスパーク内に本拠点事務局及びコンソーシアム事務局を設置しました。また令和 6 年度に、育成型から本格型への昇格審査を受け、令和 7 年度 COI-NEXT・共創タイプ・本格型昇格拠点「災害など危機的状況でもヒト・モノ・ココロがつながる健康医療共創拠点」（代表機関：順天堂大学、補助事業の期間と規模：3.2 億円／年、10 年間、令和 7～16 年度）として採択されました。

令和 7 年度は、5 つの研究開発課題に紐づく 12 のワーキンググループを立上げ、被災地である能登エリアにおける調査・実証研究等を様々な角度から進め、令和 7 年 6 月 20 日に JST サイトビジット、令和 8 年 2 月 13 日に JST 面談を実施しました。参画する連携機関は、11 大学、27 企業等、6 自治体に増加し、産学官連携の強化を図っています。本事業では、複数の大学が連携することにより広域連携医療拠点を構築し、東日本大震災等の長期的な調査研究から得られた様々な知見に基づき、災害後の亜急性期から中長期における住民の健康課題を解決する技術を開発することにより、災害後も誰一人取り残さず中長期にわたって健康でいられる社会の実現を目指します。

19. スポーツ分野での活躍

○国際大会での活躍

【ワールドユニバーシティゲームズ】

大学生のオリンピックとも称される FISU ワールドユニバーシティゲームズが 7 月 16～27 日にドイツで開催され、スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科の現役学生計 6 名が出場しました。体操競技では宮田笙子選手（3 年）が女子団体、個人総合、種目別跳馬、種目別床運動で“4 冠”を達成。角皆友晴選手（1 年）は男子団体と種目別平行棒で金メダルを獲得しました。陸上競技では阿部竜希選手（4 年）が男子 110mH で優勝。このほか、男子走高跳に原口颯太選手（3 年）、男子 1500m に大野聖登選手（3 年）、女子 100mH に本田怜選手（大学院博士前期課程 2 年）が出場しました。



体操女子個人総合など“4冠”に輝いた宮田選手
写真/フォート・キシモト



陸上男子110mHで金メダルを獲得した阿部選手
写真/フォート・キシモト

【世界選手権】

世界体操競技選手権大会が 10 月 19～25 日にインドネシアで開催され、角皆友晴選手（1 年）が男子種目別平行棒で銀メダルに輝きました。角皆選手は種目別鉄棒にも出場し、4 位入賞でした。また、世界パラ陸上競技選手権大会が 9 月 27 日～10 月 5 日にインドで開催され、山崎晃裕選手（さくらキャンパス学生課職員）が男子やり投げ（上肢障害）で 7 位入賞を果たしました。



世界体操種目別平行棒で銀メダルを獲得した角皆選手
写真/共同通信社



世界パラ陸上やり投げで7位入賞の山崎選手
写真/吉村もと

○全国大会での活躍

【陸上競技】

第 94 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）が 6 月 5～8 日、岡山県で開催され、男子が 5 大会連続の 33 回目の総合優勝を果たしました。種目別では 110mH で阿部竜希選手（4 年）、3000m 障害で永原颯磨選手（2 年）、走高跳で原口颯太選手（3 年）、十種競技で松下怜選手（3 年）の 4 選手が優勝しました。阿部選手、原口選手は昨年続く 2 連覇になります。女子は総合 4 位と健闘し、種目別では 1500m で田島愛理選手（3 年）が優勝しました。



日本インカレで男子が5大会連続33回目の総合優勝を果たした



走高跳で2連覇を果たした原口選手

【箱根駅伝】

第102回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）が1月2、3日に東京・大手町～神奈川・芦ノ湖で開催され、本学は大学過去最高タイムを10分以上縮める10時間43分55秒で走破し、総合3位（往路6位、復路4位）になりました。トップ3に入るのは2022年以来4年ぶりになります。5区間で順大新記録を更新し、1区間で順大タイ記録をマークしました。



8区永原颯磨選手からたすきをうける9区石岡大侑選手
写真/月刊陸上競技



3位のゴールテープを切る10区山本悠選手
写真/月刊陸上競技

【体操競技】

第79回全日本学生体操競技選手権大会（全日本インカレ）が8月19～22日、青森県で開催され、男子団体で本学が6年連続16度目の優勝を達成しました。本学は女子団体でも過去最高タイの2位と健闘しました。男子では谷田雅治選手（3年）が種目別平行棒で1位になるなど、個人総合で優勝。女子個人総合では、宮田笙子選手（3年）が優勝し、男女で順大勢が制する快挙となりました。宮田選手は種目別ゆかで1位になるなど、すべての種目で安定した演技を披露しました。



6連覇を果たした男子チーム



過去最高タイ2位になった女子チーム

【その他各運動部】

全日本インカレでフットサル部、スカッシュ部（男女）が準優勝を果たしました。また、トライアスロン競技部（女子）、ライフセービング部（女子）が3位になった他、バレーボール部（男女）、ハンドボール部（女子）、柔道部（男子）がベスト8に入る等の活躍をみせました。

20. 高大連携の取組

本学は高等学校との連携事業を積極的に進めています。大学教員による出張講義や大学生と高校生の共同授業などの相互交流を通じて、高校生が将来を見据えた進路を選択する際に、それらの経験が一助となることを願い、様々な取組を行っています。令和7年度は新たに5校の高等学校と高大連携に関する協定を締結し、協定校は62高校となりました。相互の交流を通じて高等学校の生徒たちの視野を広げ、学習意欲を高めるとともに、大学教育と高等学校教育との連携を図り、互いの教育の更なる活性化を目指しています。

【令和7年度連携協定締結校（5高校）】

協定締結日	高等学校名
7月8日	滝川高等学校
7月29日	二松学舎大学附属柏高等学校
7月31日	静岡県立富士高等学校
8月20日	暁星高等学校
1月9日	横浜富士見丘学園高等学校

【高大連携取組事例】



高校での出張講義



メディカルテクノロジー・シミュレーションセンター（センチュリータワー11階）での体験実習



日本医学教育歴史館（センチュリータワー17階）での学修

21. 中期事業計画の進捗・達成状況及び令和8年度事業計画策定

・中期事業計画の進捗・達成状況について

令和7年度から令和11年度までの中期事業計画に対する当期の実施状況をホームページに公表しました。(https://www.juntendo.ac.jp/about/information/)

・令和8年度事業計画について

健康総合大学としての教育・研究・臨床の更なる向上を図るために、次の事項を令和8年度事業計画として策定しました。

【教育に関する計画】

- (1) LMS (Learning Management System) の導入により、授業準備や成績管理の効率化を図るとともに、学生の学修状況や学修成果を可視化し、教育の質向上につながる体制を整備する。
- (2) 教育DXを推進する体制を整備し、全学的な観点で教育・学修支援活動におけるIT・AIの利活用を推進する。
- (3) 全ての学生が平等に学修することができるように、障がいのある学生やセクシュアル・マイノリティー学生への配慮・対応に全学で取り組む体制を整備する。
- (4) 入学試験改革を実行するとともに、高大連携や広報活動を強化し、入学志願者数の増加を図る。

【研究に関する計画】

- (5) 科学研究費補助金等の競争的研究費獲得に向けて、URAを中心とした研究支援を組織的に行う。
- (6) 若手研究者の育成と女性研究者躍進のための支援の充実を図る。
- (7) 研究不正を防止するために、コンプライアンス教育や研究倫理教育の充実を図る。
- (8) 産学連携を推進し、GAUDIやAIインキュベーションファームの取組をはじめとして、異分野・異業種との共創・学際的研究を推進し、共同研究・受託研究への展開を図り、研究成果及び知的財産等の社会実装化を目指す。

【社会貢献・社会連携に関する計画】

- (9) 市民公開講座等を開催し、大学の知見を社会に還元するほか、社会貢献活動への学生・教職員の参加、国内外の被災地への医療従事者の派遣を積極的に進める。

【国際化に関する計画】

- (10) 外国人留学生を含む外国人学生の一層の増員に取り組み、外国人学生受け入れのための教育カリキュラムの充実を図る。
- (11) 学生及び研究者の国際交流活動を推進し、海外の研究機関等との連携協定に基づく諸活動を活性化する。
- (12) 学生の国際的な視野の涵養を図り、効果的な留学プログラムの整備や支援活動を推進する。

【臨床に関する計画】

- (13) 診療報酬改定の内容を精査して、加算項目に適切に対応し、確実な算定を行う。
- (14) 病床利用率の向上と、医療経費をはじめとする経費削減を図り、病院運営基盤を強化する。
- (15) 海外から高度先進医療を求めて受診するインバウンド患者の積極的な受け入れを行う。
- (16) 医療 DX を推進し、医師及びその他の医療従事者の業務負担軽減を図るとともに、患者満足度の向上を実現する。
- (17) 各附属病院の機能や地域特性に応じて救急車搬送患者を積極的に受け入れ、地域の救急医療に貢献する。

【管理運営に関する計画】

- (18) 経常収支差額の黒字化を目標として、収支改善策を着実に実行するとともに、寄附金募集を推進し、経費及び資産の効率化を図り、財務基盤を強化する。
- (19) 資金収支、特に施設設備支出については収支バランスを勘案のうえ計画的に実施する。
- (20) 全学で DX を推進し、データドリブンに基づいた意思決定、生成系 AI を用いた業務の最適化、効率化を図る。
- (21) 働き方改革を推進し、タスクシフト・シェア等により時間外勤務の抑制を図る。
- (22) ハラスメントやいじめのない職場・教育環境の整備を推進する。
- (23) 首都直下地震、南海トラフ地震の発生を想定し、危機管理体制の更なる改善と被災時に教職員が適切な対応がとれるように研修訓練に努める。
- (24) 順天堂越谷病院の再編計画は、地域住民の医療ニーズに対応した病院を整備し、収支差額の黒字確保を目指す。

Ⅲ. 学校法人の業務の適正を確保するための体制(内部統制システム)の整備及び運用状況の概要

22. 内部統制システムに関係する決議、体制整備及び運用状況の概要

(1) 関係する決議の概要

理事の職務執行が法令及び学校法人順天堂寄附行為等に適合すること及び業務の適正を確保するための体制整備に関し、学校法人順天堂理事会（令和7年2月26日開催）において学校法人順天堂内部統制システムに関する基本方針を制定した。

(2) 体制整備及び運用状況の概要

① 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

- ・理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理の重要性を鑑み、「学校法人順天堂文書管理規程」を「学校法人順天堂文書管理規則」に改正し、規約体系の見直しを行った。
- ・理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理は、学校法人順天堂文書管理規則に基づき適切に実施している。

② 損失の危機の管理に関する規程その他の体制

- ・「学校法人順天堂危機管理規程」を「学校法人順天堂危機管理規則」に改正し、規約体系の見直しを行うとともに、「学校法人順天堂危機管理規則」を「学校法人順天堂リスク管理規則」に改正し、危機が発生した場合の対応に加えて、危機の未然防止や被害の最小化等のリスク管理を含めた規則とすることを目的として、リスク管理委員会の設置やリスク管理組織体制の見直しを行った。
- ・学長をリスク管理統括責任者とするリスク管理体制を構築している。
- ・事業活動に関するリスクについては、法令及び本法人の規約に基づき、各部門が自律的に管理することを基本としている。

③ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- ・8月を除き毎月（年11回）定例理事会を開催するとともに、必要に応じて臨時理事会を開催し、職務の執行及び監視に関する意思決定を機動的に行っている。理事会では各業務執行理事が所管事項報告を行い、理事会が各理事の職務の執行状況を確認している。
- ・業務執行理事は理事会に加えて、「大学運営月曜部会（年11回開催）」において理事会審議を行う重要事項等について意見交換を行うとともに、法人の幹部教職員約120名が出席して法人全体の課題や業務の進捗状況を確認する「大学運営連絡協議会（年11回開催）」に出席し、職務執行状況の報告・確認を行っている。

④ 職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制

- ・「順天堂大学行動規範」を定め、公共性を有する法人としての社会的責任に応えるため、教職員一人ひとりが職務の遂行にあたり遵守すべき内容を確認している。
- ・職務の執行に際して適法性についての疑念が生じた場合には、顧問弁護士や税理士、社会保険労務士等に相談し助言を受けることとしている。適時適切に相談できるよう、顧問弁護士は4名と契約するとともに、法人内に弁護士資格を有する職員1名を配置している。
- ・「法令違反等のためのヘルプラインに関する取扱規則」を定め、内部通報窓口を設置して、法令等に違反する行為等を発見した者が速やかに通報を行う体制を整備している。令和8年4

月1日付で個人情報に関する相談、研究倫理や研究不正行為に関する申立て・相談、法令違反行為に関する公益通報に対応する専門部署として法人法務・コンプライアンス室を設置するとともに、外部通報窓口を設置する準備を行った。

- ・コンプライアンス推進の重要性に鑑み、「学校法人順天堂コンプライアンス規程」及び「順天堂大学における公正な研究活動の推進に関する規程」をそれぞれ「学校法人順天堂コンプライアンス規則」及び「順天堂大学における公正な研究活動の推進に関する規則」に改正し、規約体系の見直しを行った。
- ・法人にコンプライアンス推進最高管理責任者及び同推進統括管理責任者を置くとともに、各部署にコンプライアンス推進責任者及び同推進副責任者を置き、コンプライアンスの推進体制を整備している。
- ・監事監査に加えて内部監事による内部監査を行い、教職員の職務の執行状況を確認し、内部監事は内部監査報告書を作成して、監査結果をフィードバックするとともに、理事長に報告している。

⑤ 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等

- ・監事の職務を補助する者として、監査支援室に補助職員を配置している。監事が指定する補助すべき事項については、当該職員の指揮権は監事にあり、他の役職員の指揮命令は受けないこととして監事の指示の実効性を確保している。また当該職員の人事については、監事の同意を得ることとしている。
- ・理事会では業務執行理事が所管事項報告を行い、監事に職務執行状況の報告を行っている。
- ・必要に応じて監事が会計監査人やその他の有識者との意見交換を行う会合を設けるとともに、理事長と定期的に会合を持ち、本法人の課題等について意見交換を行うこととしている。
- ・監事の要請に応じて、法人内の会議への出席や議事録の閲覧に対応するとともに、監事が報告を求めた場合には、速やかに応じることとしている。
- ・監事が職務の執行について生ずる費用の前払いや支出した費用の償還又は負担した債務の弁済を請求した場合には、速やかに相当額を支払うこととしている。

IV. 財務の概要

23. 令和7年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)

単位：百万円

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	15,052	15,037	15
手数料収入	654	625	29
寄付金収入	2,099	2,366	△ 267
補助金収入	11,368	10,908	① 460
資産売却収入	4	13	△ 9
付随事業・収益事業収入	7,724	7,237	487
医療収入	196,991	195,119	② 1,872
受取利息・配当金収入	234	365	△ 131
雑収入	3,048	3,188	△ 140
借入金等収入	1,190	1,320	△ 130
前受金収入	3,659	3,698	△ 39
その他の収入	35,327	35,313	14
資金収入調整勘定	△ 37,480	△ 40,586	③ 3,106
① 当年度資金収入合計	239,869	234,601	5,269
前年度繰越支払資金	62,153	62,153	△ 0
収入の部合計	302,022	296,754	5,269

① 当年度資金収入合計

予算と比較し、約53億円下回り、約2,346億円となりました。

【主な要因】

- ① 国や地方自治体からの補助金が減少したことにより、補助金収入が約5億円下回りました。
- ② 予算策定時の前提条件を満たすことが出来なかったことにより、医療収入が約19億円下回りました。
- ③ 入金が翌期となる収入が予算策定時の想定より増加したことにより、資金収入調整勘定が約31億円下回りました。

② 当年度資金支出合計

予算と比較し、約28億円下回り、約2,510億円となりました。

【主な要因】

- ①② 施設工事の実施・医療機器の購入などの設備投資の計画を見直し、または翌年度以降に繰り延べになったため、施設関係支出が約9億円、設備関係支出が約17億円下回りました。
- ③ 有価証券等により資産運用をしたことにより、資産運用支出が約30億円上回りました。

(支出の部)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	79,989	79,652	337
教育研究経費支出	36,692	36,326	366
医療経費支出	96,259	96,039	220
管理経費支出	6,195	6,001	194
借入金等利息支出	248	233	15
借入金等返済支出	4,205	4,205	0
施設関係支出	13,023	12,080	① 943
設備関係支出	6,198	4,454	② 1,743
資産運用支出	7,150	10,161	③ △ 3,011
その他の支出	17,056	17,550	△ 495
予備費	1,151	0	1,151
資金支出調整勘定	△ 14,412	△ 15,746	1,334
② 当年度資金支出合計	253,753	250,955	2,798
次年度繰越支払資金	48,269	45,799	2,470
支出の部合計	302,022	296,754	5,269

③ 当年度資金収支差額

予算と比較し、約25億円下回り、約△164億円となりました。

③ 当年度資金収支差額	△ 13,884	△ 16,354	2,470
-------------	----------	----------	-------

(2) 事業活動収支計算書

単位：百万円

		科 目	R07年度決算	R06年度決算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	15,037	13,922	1,115
		手数料	625	646	△ 21
		寄付金	2,350	1,334	1,016
		経常費等補助金	10,240	7,922	2,318
		付随事業収入	7,237	7,312	△ 76
		医療収入	195,119	186,981	① 8,138
		雑収入	3,196	3,445	△ 249
		① 教育活動収入 計	233,803	221,561	12,242
	事業活動支出の部	人件費	81,090	77,933	① 3,157
		(退職給与引当金繰入額)	(3,383)	(3,440)	(△ 57)
教育研究経費		54,652	52,663	1,989	
(減価償却額)		(18,322)	(17,551)	(771)	
医療経費		95,888	89,737	② 6,151	
管理経費		6,854	6,946	△ 92	
(減価償却額)		(891)	(890)	(1)	
徴収不能額等		90	105	△ 15	
② 教育活動支出 計	238,573	227,382	11,190		
教育活動収支差額		△ 4,770	△ 5,821	1,051	
教育活動外収支	収事業の活動の部	受取利息・配当金	364	204	159
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入 計	364	204	159
	支事業の活動の部	借入金等利息	233	55	178
		その他の教育活動外支出	3	0	3
教育活動外支出 計	236	55	181		
教育活動外収支差額		127	149	△ 22	
③ 経常収支差額		△ 4,643	△ 5,672	1,029	
特別収支	収事業の活動の部	資産売却差額	0	1	△ 0
		その他の特別収入	1,141	1,117	24
		特別収入 計	1,141	1,118	24
	支事業の活動の部	資産処分差額	41	1,613	△ 1,572
		その他の特別支出	6,973	32	6,941
特別支出 計	7,015	1,645	5,370		
④ 特別収支差額		△ 5,873	△ 527	△ 5,346	
予備費		0	0	0	
⑤ 基本金組入前当年度収支差額		△ 10,516	△ 6,199	△ 4,317	
基本金組入額合計		△ 16,176	△ 20,117	3,941	
当年度収支差額		△ 26,692	△ 26,316	△ 375	
前年度繰越収支差額		△ 176,785	△ 150,469	△ 26,316	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 203,477	△ 176,785	△ 26,692	
(参考)					
事業活動収入 計		235,308	222,883	12,425	
事業活動支出 計		245,824	229,082	16,741	

① 教育活動収入

前年度と比較し、約 122 億円増加し、約 2,338 億円となりました。

【主な要因】

① 高度先進医療を推進したことにより、医療収入が約 81 億円増加しました。

② 教育活動支出

前年度と比較し、約 112 億円増加し、約 2,386 億円となりました。

【主な要因】

① 診療体制を更に充実させるため医療スタッフを増員したことなどにより、人件費が約 32 億円増加しました。

② 物価の高騰に加え、高度医療の実施に伴い薬品費や診療材料費が増加したことにより、医療経費が約 62 億円増加しました。

③ 経常収支差額

前年度と比較し、約 10 億円増加しましたが、教育活動支出が教育活動収入以上に増加したため、約△ 46 億円となりました。

④ 特別収支差額

私学法の改正に伴い過年度分の賞与引当金を特別支出に計上したことにより、前年度対比で約 53 億円減少し、約△ 59 億円となりました。

⑤ 基本金組入前当年度収支差額

経常収支差額に加え、④の特別支出が生じたため、約△ 105 億円となりました。法改正の影響を除いた収支差額は、約△ 36 億円となります。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

単位：百万円

科 目	R07年度決算	R06年度決算	増 減
固 定 資 産	265,799	265,280	519
有形固定資産	238,827	239,943	① △1,116
土地	61,513	61,156	356
建物	135,107	137,732	△2,625
その他の有形固定資産	42,208	41,054	1,153
特定資産	15,647	14,780	867
その他の固定資産	11,324	10,557	768
流 動 資 産	91,818	99,172	△7,354
現金預金	45,799	62,153	② △16,354
その他の流動資産	46,019	37,019	9,000
資 産 の 部 合 計 ①	357,617	364,452	△6,835

① 資産の部合計

前年度対比で約 68 億円減少し、約 3,576 億円となりました。

【主な要因】

- ① 減価償却による帳簿価格の減少により固定資産のうち有形固定資産が約 11 億円減少しました。
- ② 附属病院の再編事業に伴う支払や有価証券等により資産運用したこと等により現金預金が約 164 億円減少しました。

(負債の部)

科 目	R07年度決算	R06年度決算	増 減
固 定 負 債	56,271	58,655	△2,384
長期借入金	20,452	24,111	① △3,659
学校債	2,060	1,910	150
その他の固定負債	33,759	32,634	1,125
流 動 負 債	35,934	29,869	6,065
短期借入金	3,659	2,445	② 1,214
短期学校債	1,090	1,680	△590
その他の流動負債	31,185	25,745	③ 5,441
負 債 の 部 合 計 ②	92,205	88,524	3,681

② 負債の部合計

前年度対比で約 37 億円増加し、約 922 億円となりました。

【主な要因】

- ①② 金融機関からの借入を返済したことにより、借入金が約 24 億円減少しました。
- ③ 私学法の改正に伴い賞与引当金を計上したことにより、その他の流動負債が約 54 億円増加しました。

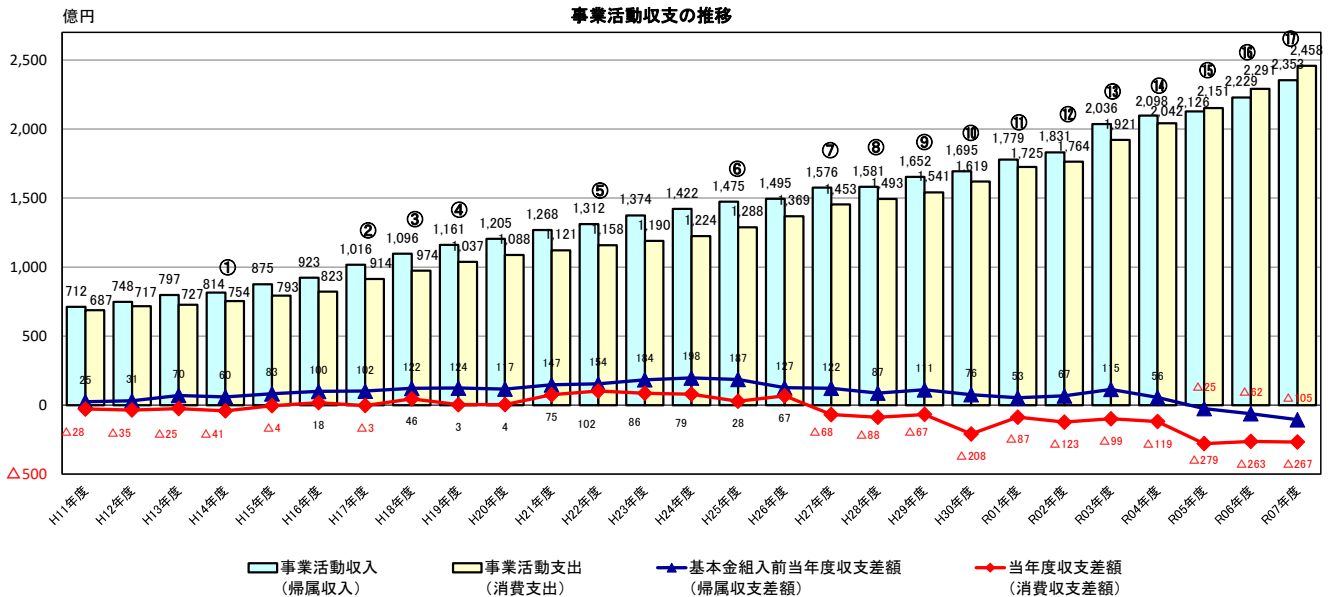
(純資産の部)

科 目	R07年度決算	R06年度決算	増 減
基本金	468,888	452,712	16,176
第1号基本金	451,712	436,338	15,374
第2号基本金	77	180	△103
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	17,099	16,194	905
繰越収支差額	△203,477	△176,785	△26,692
翌年度繰越収支差額	△203,477	△176,785	△26,692
純資産の部合計 ③	265,412	275,928	△10,516
負債及び純資産の部合計	357,617	364,452	△6,835

③ 純資産の部合計

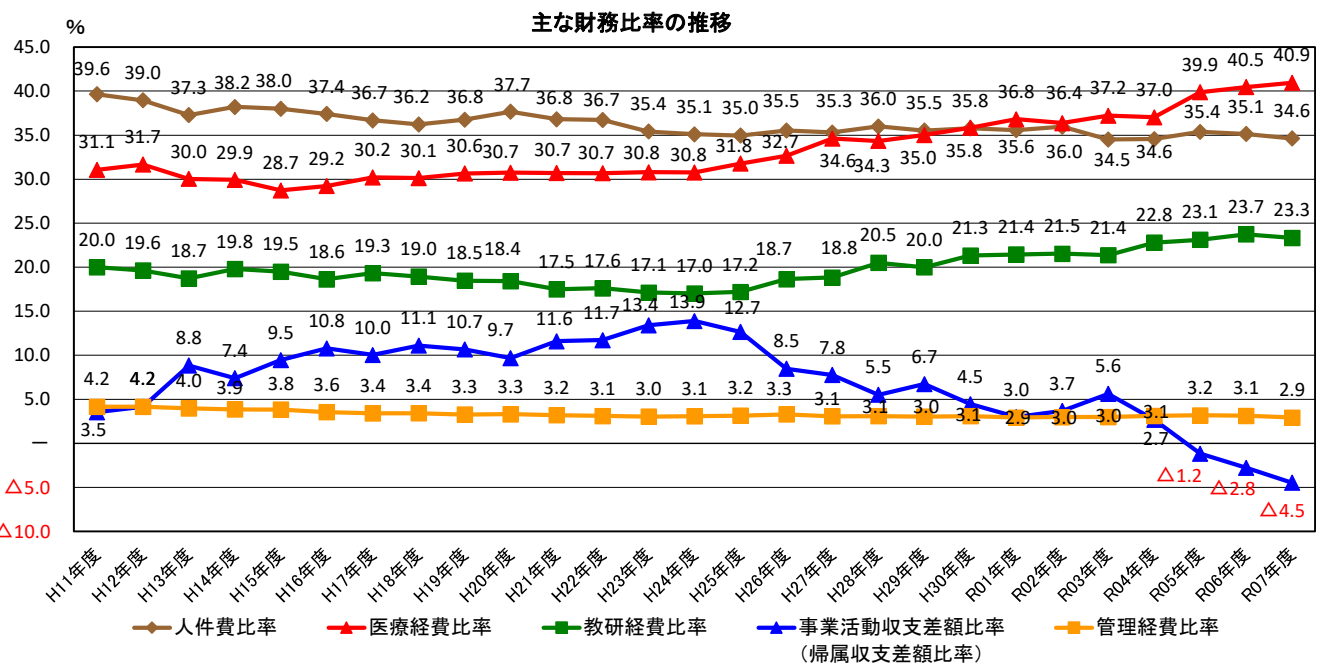
事業活動収支計算書の基本金組入前当年度収支差額が約△105 億円となったことにより、約 2,654 億円となりました。

24. 財務状況の推移



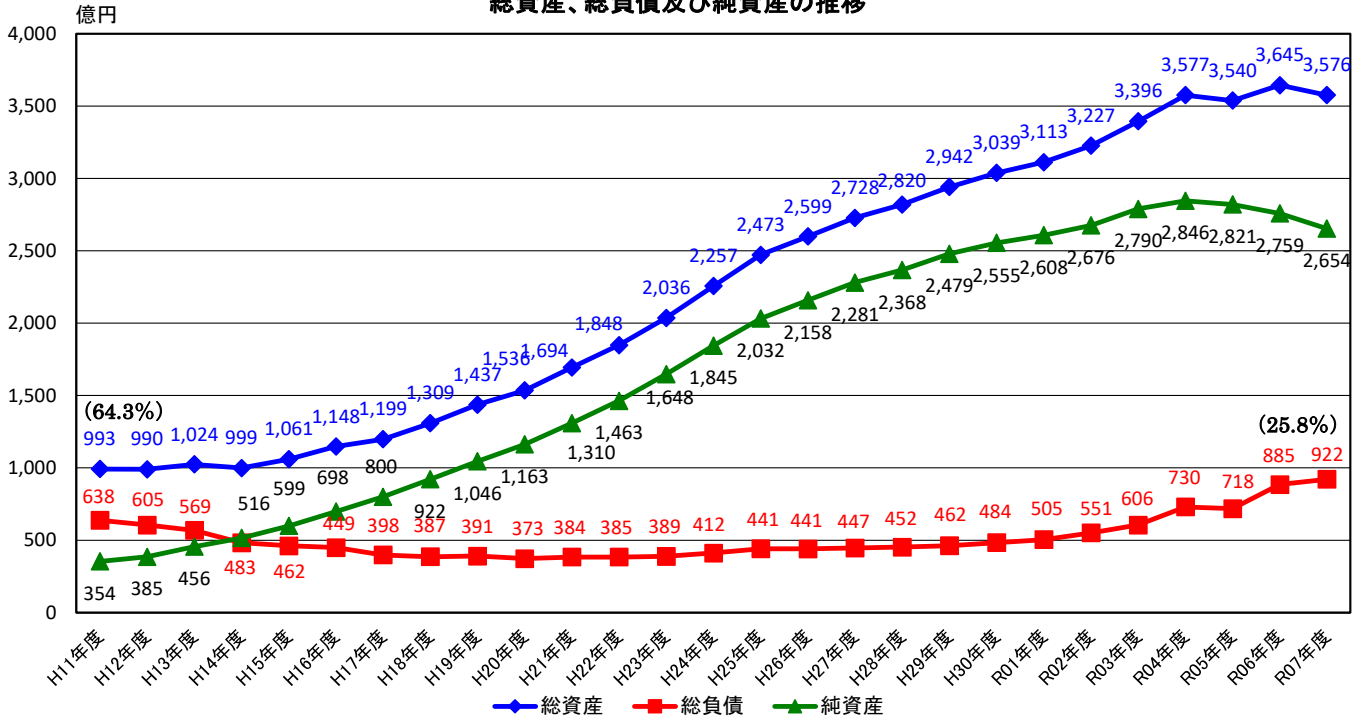
教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。

①平成 14 年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院 ②平成 17 年度 練馬病院開院 ③平成 18 年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工 ④平成 19 年度 スポーツロジックセンター設立 ⑤平成 22 年度 保健看護学部開設 ⑥平成 25 年度 順天堂医院 B 棟 I 期竣工 ⑦平成 27 年度 国際教養学部開設 ⑧平成 28 年度 順天堂医院 B 棟 II 期・C 棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床 ⑨平成 29 年度 浦安病院 3 号館竣工 ⑩平成 30 年度 新研究棟 (7 号館) 竣工 ⑪令和元年度 保健医療学部開設、練馬病院 3 号館竣工 ⑫令和 2 年度 新研究棟 (7 号館) II 期竣工、さくらキャンパス新講義棟・新女子寮竣工 ⑬令和 3 年度 浦安・日の出キャンパス 1 号館及び体育館竣工 ⑭令和 4 年度 医療科学部開設 ⑮令和 5 年度 健康データサイエンス学部開設、浦安・日の出キャンパス 2 号館竣工、さくらキャンパス第 3 体育館竣工、三島キャンパス新講義棟竣工 ⑯令和 6 年度 薬学部開設、浦安・日の出キャンパス 3・4 号館竣工、静岡病院 H 棟 II 期竣工、⑰令和 7 年度 越谷病院新病棟建設を進行



平成 27 年度に学校法人会計基準が改正されたため、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母は、26 年度以前が帰属収入 (新基準の事業活動収入)、27 年度以降は経常収入となっています。令和 7 年度は医療経費が増加したため、事業活動収支差額比率は低下しています。

総資産、総負債及び純資産の推移

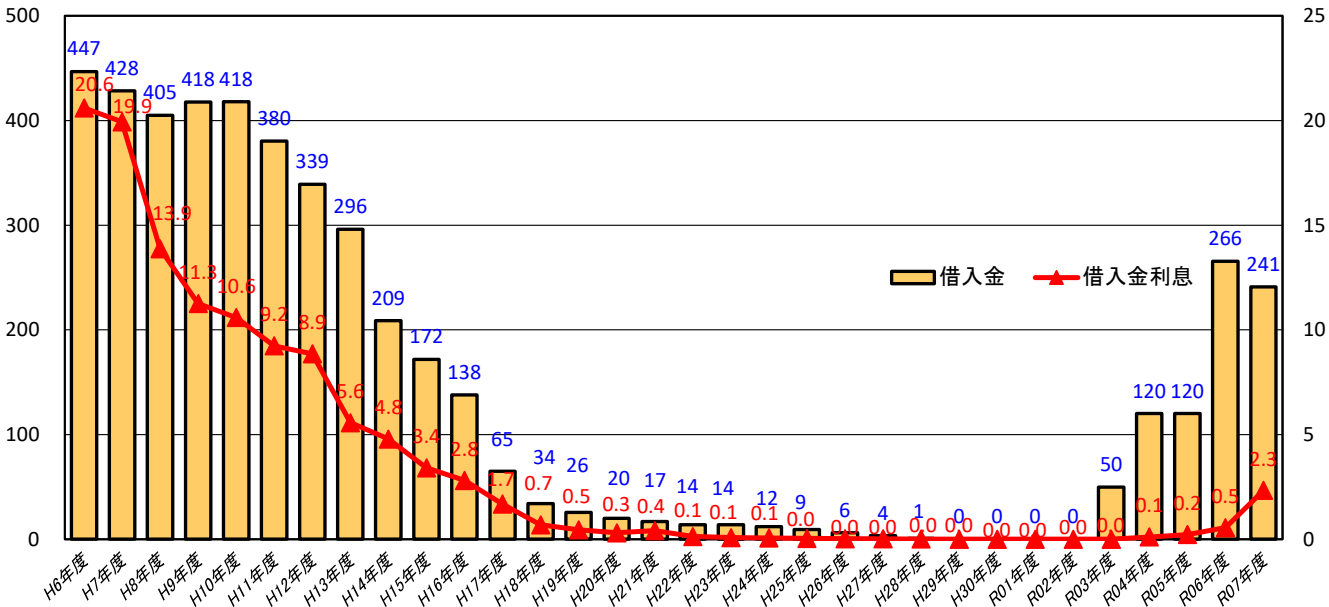


平成5年に竣工した順天堂医院1号館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度までは総負債が純資産を上回っていました。その後は有利子負債の返済を前倒しで行いつつ、施設・設備の拡充を自己資金で行いながらも、令和4年度まで堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持してきました。総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度には64.3%でしたが、令和7年度は25.8%となりました。

借入金残高
単位：億円

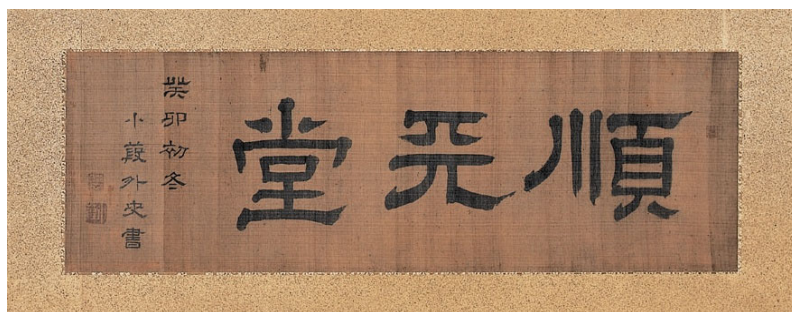
金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

借入金利息
単位：億円



総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。直近では新学部設置や越谷病院新病棟建設の施設設備の充実を目的とし、金融機関から借入れを行なっています。

この事業報告書に附属明細書はありません



Juntendo, Tokyo, Established 1838